RICOH

IPSiO GX 3000SF/GX 3000S

セットアップハンドブック

1 操作ガイドを使用する
2 セットアップがうまくいかないとき
3 スキャナーを使用する
4 ファクスを使用する
5 アドレス帳を登録する
6 ユーティリティーを使用する

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『セットアップハンドブック』「安全上のご注意」をお読みください。

はじめに

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
この使用説明書は、製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。

株式会社リコー

複製、印刷が禁止されているもの

本機を使って、何を複製、印刷してもよいとは限りません。法律により罰せられることもありますので、ご注意ください。

1) 複製、印刷することが禁止されているもの
(見本と書かれているものでも複製、印刷できない場合があります。)
・紙幣、貨幣、銀行券、国債証券、地方債券など
・日本や外国の郵便切手、印紙
(関係法律)
　・紙幣類似証券取締法
　・通貨及証券模造取締法
　・郵便切手類模造等取締法
　・印紙等模造取締法
　・(刑法 第１４８条 第１６２条)

2) 不正に複製、印刷することが禁止されているもの
・外国の紙幣、貨幣、銀行券
・株券、手形、小切手などの有価証券
・国や地方公共団体などの発行するパスポート、免許証、許可証、身分証明書などの文書または図画
・個人、民間会社などの発行する定期券、回数券、通行券、食券など、権利や事実を証明する文書または図画
(関係法律)
　・刑法 第１４９条 第１５５条 第１５９条 第１６２条
　・外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律

3) 著作権法で保護されているもの
著作権法により保護されている著作物(書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画および写真など)を複製、印刷することは、個人または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で使用する目的で複製、印刷する場合を除き、禁止されています。

* 画面の表示内容やイラストは機種、オプション、機能の設定によって異なります。

目次

1. 操作ガイドを使用する

2. セットアップがうまくいかないとき

3. スキャナーを使用する

4. ファクスを使用する

5. アドレス帳を登録する

6. ユーティリティーを使用する

索引

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は、“ 分解禁止 ” を表します）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は、“ アースを必ず接続すること ” を表します）

⚠警告

・アース接続してください。アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。アース接続がコンセントのアース端子にできない場合は、設地工事を電気工事業者に相談してください。
・アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因になります。

・表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。
・延長コードの使用は避けてください。
・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重い物を載せたり、引っぱったり、無理に曲げたりすると電源コードを傷め、火災や感電の原因になります。

・電源プラグの刃に金属などが触れると火災や感電の原因になります。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

・機械は電源コンセントにできるだけ近い位置に設置し、異常時に電源プラグを容易に外せるようにしてください。

・電源コードが傷んだり、芯線の露出・断線などが見られる場合は、販売店またはサービス実施店に交換を依頼してください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・本書で指定している部分以外のカバーやねじは外さないでください。機械内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。機械内部の点検・調整・修理は販売店またはサービス実施店にご連絡ください。
・この機械を改造しないでください。火災や感電の原因になります。

・万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態が見られる場合は、すぐに電源をオフにし、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そして販売店またはサービス実施店にご連絡ください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。
・万一、金属、水、液体などの異物が機械内部に入った場合は、まず電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはサービス実施店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になります。

・機械の近くまたは内部で可燃性のスプレーや引火性溶剤などを使用しないでください。引火による火災や感電の原因になります。
・この機械の上に花瓶、植木鉢、コップ、水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電の原因になります。

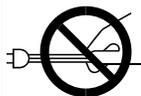
⚠注意

・湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災や感電の原因になります。
・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になります。

・機械の重さは、GX 3000S は約 20.5 kg、GX 3000SF は約 23.5 kg あります。
・機械を移動するときは、2 人で側面の中央下部のくぼみに手をかけ、ゆっくりと体に負担がかからない状態で持ち上げてください。無理をして持ち上げたり、乱暴に扱って落としたりすると、けがの原因になります。

・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
・お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

・機械を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線をはずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

・電源プラグは年に 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因になります。

・狭い部屋で長時間連続してご使用になるときは、換気にご注意ください。

・オプションの取り付け、取り外しは、機械の電源スイッチが切れていて、機械本体が常温であることを確認してから行ってください。やけどの原因になります。

・機械の動作中にカバーを開け、機械内部に手や指を入れないでください。手や指をはさまれ、けがの原因になります。

・用紙（記録紙）交換の際、指挟み、指のけがに注意してください。

・インクが眼に入った場合、速やかに流水で洗い、異状のあるときは医師にご相談ください。
・インクを飲み込んだ場合、濃い食塩水を飲ませるなどして吐き出させ、医師にご相談ください。
・インクが皮膚に付いた場合は、すぐに水または石鹸水で洗い流してください。

・インク回収ユニットは子供の手の届かない所に保管してください。

・インクは子供の手の届かないところに保管してください。

・光源は見つめないでください。目に障害を与えることがあります。

マニュアルの使いかた

・ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。
・本書の対象機種は GX3000SF、GX3000S です。イラストと画面は GX3000SF を使用しています。
・機種によって機能が異なります。お使いの機種名を確認してから、お読みください。

GX3000SF

GX3000SF のモデルについて説明しています。

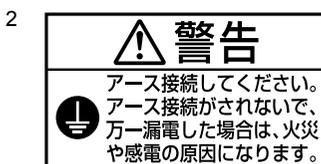
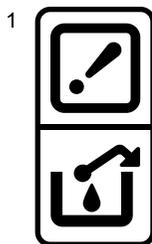
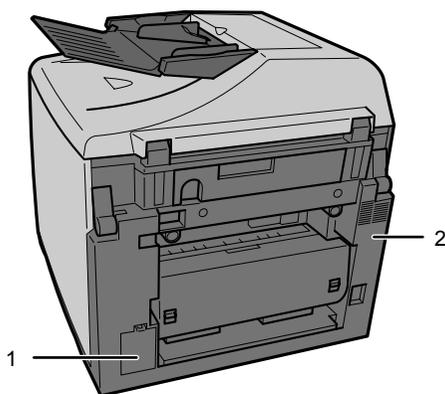
GX3000S

GX3000S のモデルについて説明しています。

安全に関する本機の表示について

本機に表示されている安全に関する情報です。

警告、注意のラベルまたは刻印の位置について

本機には、下記に示す位置に安全にお使いいただくための、警告、注意のラベルまたは刻印があります。表示にしたがって安全にお使いください。

1 **本体内部には、インクを貯蔵するインク回収ユニットがあります。**
インクがあふれる可能性がありますので、取り扱いには十分注意してください。

2 **電源プラグに付属しているアース線は、アース接続に使います。**
アース接続がされないで、万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。

電源スイッチの記号

本機のスイッチ類に記されている記号の意味は以下のとおりです。

- ⏻: スタンバイ

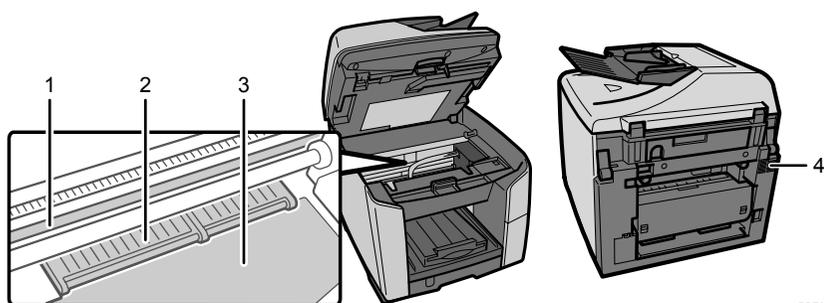
エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラム

国際エネルギースタープログラムは、コンピューターをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピューター、ディスプレイ、プリンター、ファクシミリ、複写機、スキャナー、複合機のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマークは参加各国の間で統一されています。

使用上のお願い

- スキャナーユニットや右前カバーを開けたままにしないでください。けがの原因になります。
- 印刷中にスキャナーユニットや右前カバーを開けたり、本機を移動したり、傾けたりしないでください。本機の上で紙を揃えるなど、外的ショックを与えないでください。機械の故障に繋がります。
- 印刷やメンテナンス動作が終了するまでは、電源をオフにしたり、電源プラグやケーブル類を抜かないでください。機械の故障に繋がります。
- 本機の上面に 3kg を超える荷重をかけないでください。（上面の外周部分に荷重がかかる場合、本製品は 20kg までの荷重に耐えられます。）
- 印刷中は、給紙トレイ（トレイ 1、トレイ 2（オプション））を引き出さないでください。印刷が停止し、用紙がつまります。
- クリップなどの異物が本製品の中に入らないように注意してください。
- 本体内部の温度が上昇すると、故障の原因になります。物を置いたり、立て掛けたりして排気口をふさがないようにしてください。
- 搬送ベルト、黒い透明のシート、紙押さえ板には手を触れないでください。
- 本機の製品寿命は、5 年または 150,000 ページです。1 日の通電時間の合計が 8 時間程度、月間印刷枚数 2,500 枚（A4 サイズの場合）以下で、使用年数を 5 年と想定して設計、製造されています。これを超える場合は、使用年数が設定された年数よりも短くなる場合があります。また使用状況によっても、製品寿命は変わります。
- 「トータルカウンター」は、印刷ページ数を記載しています。
  この数値は製品寿命のページ数の目安にしてください。製品寿命は、普通紙、[はやい] モードでの印刷可能ページ数で設定しています。
- GX カートリッジを取り付け、初めて本機の電源をオンしたときにインク供給が自動的に開始されます。その後の印刷開始時にプリントヘッドにてノズル抜けが発生することがあります。その場合にはヘッドクリーニングを行ってください。
- 一日に数百枚程度の大量印刷を行った場合、翌日の印刷開始時にプリントヘッドにてノズル抜けが発生することがあります。その場合にはヘッドクリーニングを行ってください。
- 各色のインクは白黒印刷のみ実行している場合でも消費されます。また、印刷以外でヘッドクリーニング、リフレッシングなどのメンテナンス時や電源投入、インクカートリッジセットなどによる品質維持動作実施時にも消費されます。
- GX カートリッジは 1 色でもなくなると本機の動作が停止します。例えば、シアン、イエロー、マゼンタなどのカラーの GX カートリッジのインクがなくなった場合でも、白黒印刷することはできません。
- 適切な印刷品質を得るために、GX カートリッジは使用推奨期限内に開封し、開封後 6 カ月以内に使い切ってください。
- 本機を使用しない場合は、電源をオフにしてください。長期間使用されない場合には、電源をオフにして USB ケーブルを取り外し、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 安定した品質を維持するために、印刷終了後もしくは印刷中に定期的に自動メンテナンスを実施します。なお、本メンテナンスは一定期間機械を使用しなかった後の印刷開始時にも行われますが、長期間使用されていない本機をご使用になる場合、自動メンテナンス動作が長くかかる場合があり、通常より多くのインクを消費しますので、20 〜 25 日間に 1 回は印刷されることをお勧めします。

・使用条件によっては、使用可能年数より早くインク回収ユニットが満杯になる場合があります。インク回収ユニットが満杯に近づくと、インク回収ユニットの交換を知らせるメッセージが表示されます。インク回収ユニットはサービス交換部品になっております。継続して印刷はできますが、お早めに販売店または最寄りのサービス実施店にご連絡ください。
・GX カートリッジ等の消耗品は、リコー指定の製品により、安全性を評価しています。安全にご使用いただくため、リコー指定の GX カートリッジまたは消耗品をご使用ください。
・使用後の GX カートリッジ内には、インクが残ることがあります。
・寒い所から暖かい所に移動すると、機械内部に結露が生じることがあります。結露が生じた場合は、1 時間以上放置して環境になじませてからご使用ください。
・日本国外へ移動された場合は、保守サービスの責任を負いかねますので、ご了承ください。
・両面印刷の場合、文字以外のデータは全体的に濃度を下げて印刷します。
・連続して原稿を読み取ると、原稿ガラス表面が熱いと感じることがありますが、異常ではありません。
・排気口などでは排気により温かいと感じることがありますが、異常ではありません。

1 黒い透明のシート

2 紙押さえ板

3 搬送ベルト

4 排気口

カラー印刷物の取り扱いについて

・カラー印刷物の退色は、一般の印刷物と同様に、長時間水や光にさらされると色あせることがあります。長時間保存する場合は、バインダーなどで水や光から保護することをおすすめします。
・印刷物をはるとき、溶剤系の接着剤を使うと、インクが溶けることがあります。

使用説明書について

本製品には、次の説明書が入っています。

♦ かんたんセットアップ

本製品を箱から取り出し、操作が行えるまでの手順を説明しています。またオプションの取り付けや基本的な設定と操作方法も説明しています。

♦ セットアップハンドブック（本書）

操作ガイドのインストール方法や使い方、セットアップがうまくいかないときの対処方法を説明しています。

♦ 操作ガイド

付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」に収録されています。

本製品の詳しい使いかたを説明しています。ネットワーク環境で使うための設定方法、各種ドライバーのインストール方法、各機能（プリンター、コピー、スキャナー、ファクス）の操作方法、Web ブラウザーやユーティリティーを使っての本機の状態確認や設定などの説明をしています。

また印刷が始まらないときや思いどおりに印刷されないときの解決方法、紙づまりの対処方法、困ったときの対処方法、用紙に関する情報、消耗品の交換など使用するための重要な情報をまとめて説明しています。すぐに利用できるように、パソコンにインストールすることをおすすめします。

♦ プリンタードライバーガイド Macintosh 編

付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」に収録されています。

MacOS、MacOS X からプリントする方法を説明しています。

♦ クイックガイド

困ったときの対処方法、お問い合わせ先などの情報を抜粋して説明しています。

補足

- 使用説明書に記載されているパソコンの操作方法は、OS の種類やバージョンによって異なる場合があります。また、表示される画面は、お使いの環境によって異なります。
- 本機の最新の対応 OS については、リコーのホームページを参照してください。

マークについて

本書で使われているマークには次のような意味があります。

⚠警告

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

⚠注意

※安全上のご注意についての説明です。
この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。冒頭にまとめて記載していますので、必ずお読みください。

重要

誤って操作をすると、紙づまり、原稿破損、データ消失などの原因になることがあります。必ず、お読みください。

補足

操作するときに気を付けることや、操作を誤ったときの対処方法などを説明しています。

参照

参照先を示します。

[ ]
キーとボタンの名称を示します。

『　』
本書以外の分冊名称を示します。

1. 操作ガイドを使用する

操作ガイドのインストール方法や、使い方を説明しています。

操作ガイドのインストール

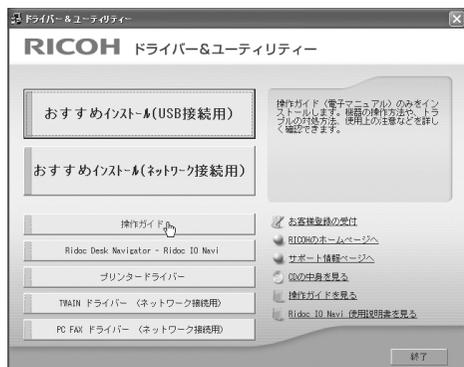
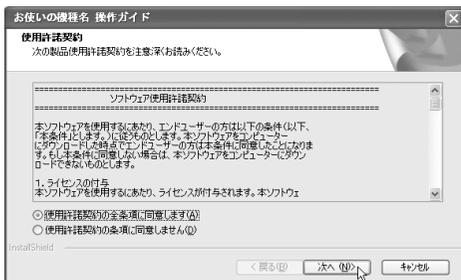
操作ガイドのみをインストールします。
「おすすめインストール（USB 接続用）」、および「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」でソフトウェアをインストールした場合は、ここでのインストールは必要ありません。

重要

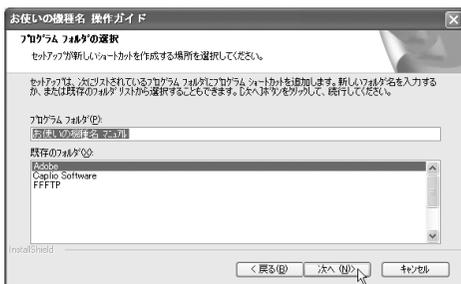
- ここでは Windows XP の画面で説明しています。他の OS をお使いになる場合は、操作が異なる場合があります。表示される画面は、お使いの環境によって異なります。

1 Windows を起動して、本製品に付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

他のアプリケーションソフトを起動している場合は、すべて終了してください。
CD-ROM をセットすると、［ドライバー & ユーティリティー］画面が表示されます。
表示されない場合は、［マイ コンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［Setup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［操作ガイド］をクリックします。

3 ソフトウェア使用許諾契約のすべての項目をお読みください。同意する場合は［同意します］をクリックし、［次へ］をクリックします。

4 インストール先を確認し、［次へ］をクリックします。

インストール先を変更する場合は、［変更］をクリックしてください。

5 プログラムフォルダを確認し、［次へ］をクリックします。

6 ［インストール］をクリックします。

インストールが始まります。
このとき、デスクトップへのショートカット作成の確認画面が表示されます。作成する場合は［はい］、作成しない場合は［いいえ］をクリックします。

7 インストールの完了を確認し、［完了］をクリックします。

参照

- GX 3000SF：プリンター機能、TWAIN スキャナー機能、PC ファクス機能を使用するには、付属の CD-ROM からソフトウェアのインストールが必要です。『操作ガイド』を参照してください。
- GX 3000S：プリンター機能、TWAIN スキャナー機能を使用するには、付属の CD-ROM からソフトウェアのインストールが必要です。『操作ガイド』を参照してください。

1

操作ガイドの使いかた

CD-ROM に収録されている操作ガイドでは、本機の詳しい使いかたや、トラブル発生時の解決方法などを説明しています。

1

操作ガイドを表示するには以下の Web ブラウザーをお使いください。

- Microsoft Internet Explorer Version 4.01 SP2 以上
- Netscape 6.2 以上

マニュアル内のムービーを表示するには Adobe Flash Player（Macromedia Flash Player 5 以降）のプラグインが必要です。

♦ 音声読み上げソフトを使用する場合、または Macromedia Flash Player プラグインをインストールできない場合

操作ガイドの内容を音声読み上げソフトでお聞きになる場合、または Flash プラグインをインストールできずムービーが表示されない場合は、音声読み上げ用に最適化された「読上げソフト対応」に切り替えてお使いください。

ウィンドウ右上のタブで表示を切り替えることができます。

♦ 動作対象外の Web ブラウザーをお使いの場合

Internet Explorer 3.02 以上または Netscape Navigator 4.05 以上をお使いの場合は、バージョンの低い Web ブラウザー向けに簡素化した操作ガイドが表示されます。

補足

- 簡素化した操作ガイドが自動的に表示されないときは、CD-ROM「ドライバー&ユーティリティー」内の［unv］フォルダにある index.htm を開いてください。
- ［unv］フォルダは CD-ROM 内の以下のパスにあります。
  ¥MANUAL¥LANG¥ja¥OP_GUIDE¥unv
- Microsoft Windows XP Service Pack 2 をお使いの場合、セキュリティ強化機能により一部の機能が制限されたり、コンテンツの表示を制限する警告メッセージが出る可能性があります。この現象が発生した場合は、ツールバーのメッセージをクリックして制限を解除させることでコンテンツが正常に表示可能となります。

操作ガイドを開く

操作ガイドの開きかたを説明します。

アイコンから開く

デスクトップ上のアイコンから開く方法を説明します。

1 デスクトップ上の［お使いの機種名 操作ガイド］アイコンをダブルクリックします。

Web ブラウザーが起動し、操作ガイドが表示されます。

［スタート］メニューから開く

Windows の［スタート］メニューから開く方法を説明します。

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、［お使いの機種名］を選び、［お使いの機種名操作ガイド］を選びます。

Web ブラウザーが起動し、操作ガイドが表示されます。

補足

- インストール時のお客様の設定によっては、メニューフォルダの名称が異なる場合があります。

1

プリンタードライバーから開く

プリンタードライバーから開く方法を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面の［基本］タブで、［操作ガイドの目次］をクリックします。

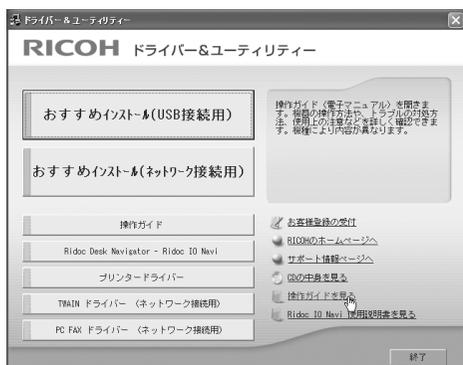
Web ブラウザーが起動し、操作ガイドが表示されます。

CD-ROM から開く

付属の CD-ROM から開く方法を説明します。

1 Windows を起動して、本製品に付属の CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。

CD-ROM をセットすると、［ドライバー＆ユーティリティー］画面が表示されます。
表示されない場合は、［マイ コンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［Setup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

2 ［操作ガイドを見る］をクリックします。

Web ブラウザーが起動し、操作ガイドが表示されます。

ステータスモニターのエラー表示から開く

ステータスモニターのエラー表示から開く方法を説明します。

1 本機に問題が起きると、ステータスモニターがエラーメッセージを表示します。

2 ［操作ガイド］をクリックします。

Web ブラウザーが起動し、操作ガイドが表示されます。
本機を使用しているときに起きたトラブルは、ここから操作ガイドを開いて解決してください。

2. セットアップがうまくいかないとき

セットアップがうまくいかないときの対処方法について説明しています。

ソフトウェアがインストールできない

各セットアップ方法でソフトウェアがインストールできないときの対処方法について説明しています。

インストールの結果を確認する

ソフトウェアがインストールされたかどうかの確認をします。
アイコン、またはフォルダが作成されない場合は、ソフトウェアがインストールされていません。もう一度インストールしてください。

♦ プリンタードライバー

「おすすめインストール（USB 接続用）」、「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」、「プリンタードライバー」でインストールされます。プリンタードライバーが正しくインストールされると、[プリンタと FAX] フォルダに本機のアイコンが作成されます。プリンタードライバーのプロパティから、ポートの接続先が USB またはネットワーク上のプリンターになっていることを確認してください。印字テストを行って、接続を確認してください。印字テストができない場合は、P.30 「印字テストができない」を参照してください。

♦ TWAIN ドライバー

「おすすめインストール（USB 接続用）」、または「TWAIN ドライバー（ネットワーク接続用）」でインストールされます。TWAIN ドライバーが正しくインストールされると、クライアントコンピューターのアプリケーションから、本機にセットした原稿を読み取れるようになります。『操作ガイド』「基本的な TWAIN スキャナーの操作手順」を参照し、正しくインストールされていることを確認してください。

♦ 操作ガイド

「おすすめインストール（USB 接続用）」「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」、または「操作ガイド」でインストールされます。操作ガイドが正しくインストールされると、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] に操作ガイドのフォルダが作成されます。

♦ Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi

「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」または「Ridoc Desk Navigator - Ridoc IO Navi」でインストールされます。Ridoc IO Navi がインストールされると、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] の [RICOH Ridoc Desk Navigator] の [Ridoc IO Navi] フォルダに Ridoc IO Navi アイコンが作成されます。

♦ GX 3000SF：機器設定ユーティリティー
「おすすめインストール（USB 接続用）」でインストールされます。機器設定ユーティリティーが正しくインストールされると、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］に機器設定ユーティリティーのフォルダが作成されます。

♦ GX 3000SF：PC FAX ドライバー
パソコンからファクスへ送信する場合に必要になります。
「おすすめインストール（USB 接続用）」、または「PC FAX ドライバー（ネットワーク接続用）」でインストールされます。PC FAX ドライバーが正しくインストールされると、［プリンタと FAX］フォルダに本機のアイコンが作成されます。

2

補足

• 「おすすめインストール」の方法は、『かんたんセットアップ』を参照してください。

参照

• P.30 「印字テストができない」

インストールする環境を確認する

ソフトウェアをインストールするための環境を確認します。

「おすすめインストール（USB 接続用）」の場合

CD-ROM が正しくセットされていない	「ドライバー＆ ユーティリティー」が正しく CD-ROM ドライブにセットされているか、確認してください。また、CD-ROM に傷が付いていないか、CD-ROM ドライブが正しく動作しているか、確認してください。
電源コード、USB ケーブルが正しく接続されていない	電源コード、USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
対応していないバージョンの OS を使っている、またはインストールに必要なハードディスク（HDD）の容量が足りない	本機と接続するパソコンの環境が条件を満たしているか確認してください。『かんたんセットアップ』「接続するパソコンと設置環境を確認する」を参照してください。
他のアプリケーションソフトを終了していない	インストールする場合は、その他のアプリケーションソフトをすべて終了してください。 その他のアプリケーションソフトを開いていると、インストールの動作が妨げられることがあります。また、ウイルス対策ソフトや他のプリンターを監視するソフトなど、常駐しているアプリケーションソフトも終了させてください。

Windows が自動的に USB 接続の設定をしてしまった	Windows のデバイスマネージャーを開き、不正なデバイスを［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］から削除してください。不正なデバイスは、アイコンに黄色の「!」が付いたり、アイコンが黄色の「?」になっています。誤って必要なデバイスを削除しないようにしてください。詳しい操作方法については、P.35「デバイスを削除する」を参照してください。
インストールの前に本機の電源を入れている	一度本機の電源を切り、再度「おすすめインストール（USB 接続用）」を行ってください。
Windows NT 4.0 を使用している	・Windows NT 4.0 は USB 接続に対応していません。そのため、「おすすめインストール（USB 接続用）」は実行できません。ネットワークを経由して接続してください。 ・「PC FAX ドライバー（ネットワーク接続用）」は対応していません。
USB 接続ができない	本機の電源を切り、本体から USB ケーブルを抜いてから差し、再度「おすすめインストール（USB 接続用）」を行ってください。ドライバー導入前の確認画面で本機の電源を入れてください。それでも解決しない場合は、［メニュー］キーを押し、［インターフェースセッテイ］の［USB スピード］で［ジドウ］から［フルスピード］に変更してください。変更後、ドライバーをアンインストールし、デバイスを削除して、再度「おすすめインストール（USB 接続用）」を行ってください。
インストール中にエラーが発生する	インストール中に不明なデバイスと認識されてエラーが発生した場合は、「USB接続ができない」の項目を参照してください。 それでも解決しない場合は、Windows を再起動し、［コントロールパネル］を選び、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリックします。［システム］を選択し、［ハードウェア］タブをクリックします。［デバイスマネージャー］を選択し、表示された［その他のデバイス］からプリンター名を選択し、プロパティを開きます。［全般］タブをクリックして、［ドライバの再インストール］を選び、ドライバーをインストールしてください。

「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」の場合

CD-ROM が正しくセットされていない	「ドライバー＆ ユーティリティー」が正しく CD-ROM ドライブにセットされているか、確認してください。また、CD-ROM に傷が付いていないか、CD-ROM ドライブが正しく動作しているか、確認してください。
電源コード、イーサネットケーブルが正しく接続されていない	電源コード、イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。
対応していないバージョンの OS を使っている、またはインストールに必要なハードディスク（HDD）の容量が足りない	本機と接続するパソコンの環境が条件を満たしているか確認してください。『かんたんセットアップ』「接続するパソコンと設置環境を確認する」を参照してください。
他のアプリケーションソフトを終了していない	インストールする場合は、その他のアプリケーションソフトをすべて終了してください。 その他のアプリケーションソフトを開いていると、インストールの動作が妨げられることがあります。また、ウイルス対策ソフトや他のプリンターを監視するソフトなど、常駐しているアプリケーションソフトも終了させてください。
IP アドレスが設定されていない パソコンと本機が別セグメントにある	ネットワークプリンターが見つからず、選択画面に「プリンターポート」のみ表示される場合は、本体の IP アドレスが設定されていないか、パソコンと本機が別セグメントのネットワークにあります。 本機の IP アドレスとネットワーク環境を確認してからインストールしてください。または、選択画面で「プリンターポート」を選択してインストールしてください。 この場合は、Ridoc IO Navi はインストールされないので、プリンタードライバーのインストール後に Ridoc IO Navi をインストールし、ポートを設定してください。
最新の Ridoc Desk Navigator-Ridoc IO Navi がインストールされている	お使いの環境に、CD-ROM に同梱されている Ridoc Desk Navigator-Ridoc IO Navi よりも新しいバージョンの Ridoc Desk Navigator-Ridoc IO Navi がインストールされていると、「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」でインストールすることができません。プリンタードライバーをインストール後にあらためてポートを作成してご使用ください。

ドライバーがインストールできない

[Setup.exe] アイコンをダブルクリックしても、[ドライバー & ユーティリティー] 画面が開かない場合や、ドライバーのインストール中にエラーが発生するときの対処方法を説明します。

♦ プリンタードライバーをインストールしたい

[マイコンピュータ]または[エクスプローラ]から CD-ROM ドライブを開き、[DRIVERS] の [PRINTER] フォルダにある [RDISETUP.exe] アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがってプリンタードライバーをインストールしてください。

本機を USB で接続している状態で、プリンタードライバーのみをインストールしたいときにも、上記の方法でイントールしてください。

Web からダウンロードしたプリンタードライバーや、CD からコピーしたプリンタードライバーをインストールする場合は、プリンタードライバーをドライブの直下に保存先を移してからインストールを行ってください。

その他のアプリケーションソフトが起動していないか確認してください。その他のアプリケーションソフトをすべて終了してください。その他のアプリケーションソフトを開いていると、インストールの動作が妨げられることがあります。また常駐しているアプリケーションソフトも終了させてください。

♦ TWAIN ドライバーをインストールしたい(ネットワーク接続用)

[マイコンピュータ]または[エクスプローラ]から CD-ROM ドライブを開き、[DRIVERS] の [TWAIN] フォルダにある [InstScan.exe] アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがって TWAIN ドライバーをインストールしてください。

♦ GX 3000SF:PC FAX ドライバーをインストールしたい(ネットワーク接続用)

[マイコンピュータ]または[エクスプローラ]から CD-ROM ドライブを開き、[DRIVERS] の [PCFAX] フォルダにある [InstFax.exe] アイコンをダブルクリックし、画面の指示にしたがって PC FAX ドライバーをインストールしてください。

補足

・保存先のパスが長い場合はエラーが発生します。

2

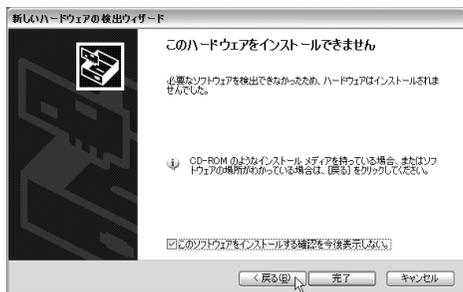
インストール時のご注意

ソフトウェアのインストール時の注意事項について説明します。

♦「デジタル署名が見つかりませんでした」というメッセージや、「ソフトウェアのインストール」、「ハードウェアのインストール」画面が表示された場合：

1) ［はい］または［続行］を選択して、インストールを続行してください。

♦「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合：

1) ［一覧または特定の場所からインストールする］を選択し、［次へ］をクリックします。
2) ［次の場所を含める］にチェックを付け、［参照］をクリックします。
3) CD-ROM 内の「DRIVERS」フォルダにある INF ファイルを選択し、［次へ］をクリックします。
   このとき［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックは必ずはずしてください。
   また、以下のダイアログが表示されインストールできない場合は、［戻る］をクリックし、他のドライバー（プリンター、ファクス、TWAIN スキャナー）の inf ファイルを指定してください。

補足

- INF ファイルの格納場所（「XXXXX」はお使いの OS に合わせて選択してください。）
  - プリンタードライバー：DRIVERS¥PRINTER¥RPCS_R¥XXXXX¥DISK1
  - TWAIN ドライバー：DRIVERS¥TWAIN¥XXXXX¥Japanese
  - GX 3000SF：PC FAX ドライバー：DRIVERS¥PCFAX¥XXXXX¥Japanese

USB 接続で自動認識されない

PC と本機を USB 接続しているとき、プリンターが OS に自動認識されない場合は、次の手順にしたがって操作してください。

1. インストールしたドライバーを削除してください。
2. デバイスを削除してください。
3. 「おすすめインストール（USB 接続用）」を行ってください。

参照

- プリンタードライバーの削除方法については、P.33 「プリンタードライバーをアンインストールする」を参照してください。
- TWAIN ドライバーの削除方法については、P.36 「TWAIN ドライバーをアンインストールする」を参照してください。
- GX 3000SF：PC FAX ドライバーの削除方法については、P.38 「PC FAX ドライバーをアンインストールする」を参照してください。
- デバイスの削除方法については、P.35 「デバイスを削除する」を参照してください。
- 「おすすめインストール（USB 接続用）」については、『かんたんセットアップ』「おすすめインストール（USB 接続用）」を参照してください。

問題が解決されない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
トラブル発生時にはまずは下記の内容をご確認ください。代表的なトラブルの対処策をまとめています。
- インターネット：http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/geljet/support/trouble/

2

印字テストができない

印字テストができないときの対処方法を説明します。

電源コード、USB ケーブル、イーサネットケーブルが正しく接続されていない	電源コード、USB ケーブル、イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認してください。
ポートの接続先が正しく設定されていない	1) [スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選びます。 2) 本機のアイコンを選び、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選びます。 3) [ポート] タブ (Windows 98/Me の場合は [詳細] タブ) を選んで、印刷先のポートを確認します。 補足 ・ポートの接続先が USB またはネットワーク上の本機以外に設定されている場合は、選択項目から USB またはネットワーク上のプリンターを選んでください。 ・USB を接続しているのに、選択項目に USB がない場合は、プリンタードライバーをアンインストールしてから、もう一度インストールしてください。P.29 「USB 接続で自動認識されない」を参照してください。
インクを供給している	GX カートリッジを取り付け、初めて本機の電源をオンにしたときや、カートリッジを交換したあとは、インクの供給が自動的に開始されます。インクの供給が終わり、[電源] キーが点滅から点灯に変わるまでお待ちください。
本体でエラーが起こっている。	操作部を確認し、エラーを解決後、再度印字テストを行ってください。

問題が解決されない場合は、お客様相談センターへご連絡ください。
トラブル発生時にはまずは下記の内容をご確認ください。代表的なトラブルの対処策をまとめています。
・インターネット : http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/geljet/support/trouble/

参照

・ステータスモニターにエラーが表示されているときは、『操作ガイド』「ステータスモニターのエラー表示」を参照してください。

TWAIN ドライバーでスキャンできない

TWAIN ドライバーで原稿をスキャンできないときの対処方法を説明します。

インストールが完了していない	TWAINドライバーをアンインストールしてから、もう一度インストールしてください。P.36「TWAIN ドライバーをアンインストールする」を参照してください。
ウイルス対策ソフトや、OS のファイアウォール機能が機能している	ウイルス対策ソフトや、OS のファイアウォール機能が動作していると、ネットワーク接続時に、スキャナに接続できない、スキャンできない場合があります。本機で指定している IP アドレスをファイアウォール機能から除外するように設定してください。
本体でエラーが起こっている	操作部を確認し、エラーを解決後、再度印字テストを行ってください。

PC FAX ドライバーで送信できない

GX 3000SF

PC FAX ドライバーで原稿を送信できないときの対処方法を説明します。

ポートの接続先が正しく設定されていない	1) [スタート] メニューから [プリンタと FAX] を選びます。 2) 本機のアイコンを選び、[ファイル] メニューから [プロパティ] を選びます。 3) [ポート] タブ (Windows 98/Me の場合は [詳細] タブ) を選んで、印刷先のポートを確認します。 ・ポートの接続先が USB またはネットワーク上の本機以外に設定されている場合は、ドロップダウンメニューから USB またはネットワーク上のプリンターを選んでください。 ・USB を接続しているのに、ドロップダウンメニューに USB がない場合は、PC FAX ドライバーをアンインストールしてから、もう一度インストールしてください。P.38 「PC FAX ドライバーをアンインストールする」を参照してください。
本体でエラーが起こっている	操作部を確認し、エラーを解決後、再度印字テストを行ってください。

ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアのインストールに失敗したり、インストールが不完全な状態で終了した場合は、ソフトウェアをいったんアンインストールし、もう一度インストールしてください。

重要

- ソフトウェアをアンインストールする場合や、デバイスを削除する場合は、該当機種以外に USB で接続している機器の電源をオフにするか、USB ケーブルを抜いてから操作を行ってください。

補足

- 表示される画面は、お使いの環境によって異なります。
- ソフトウェアを再度インストールする場合は、Windows を再起動してください。

参照

- ソフトウェアを再度インストールする場合は、『かんたんセットアップ』を参照してください。

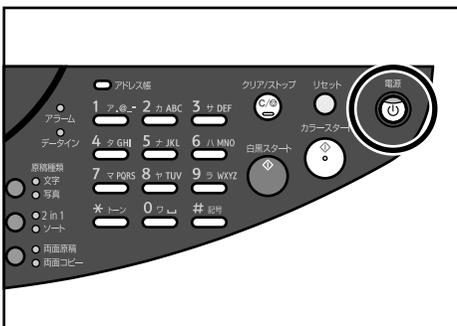
2

プリンタードライバーをアンインストールする

プリンタードライバーを削除すると、プリンタードライバーと同時にインストールされたステータスモニターも同時に削除されます。
プリンタードライバーを削除すると、登録してあるワンクリック設定も削除されます。バージョンアップ後、同じワンクリック設定を使用したいときは、プリンタードライバーの設定ファイルとして保存しておいてください。

重要

- ここでは Windows 98 の画面と操作手順で説明しています。他の OS をお使いの場合には、リコーのホームページを参照してください。

1 本機の［電源］キーを押して電源をオフにします。

AQQ072S

2 ［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］を選びます。

3 本機のアイコンを選び、［ファイル］メニューから［削除］を選びます。

2

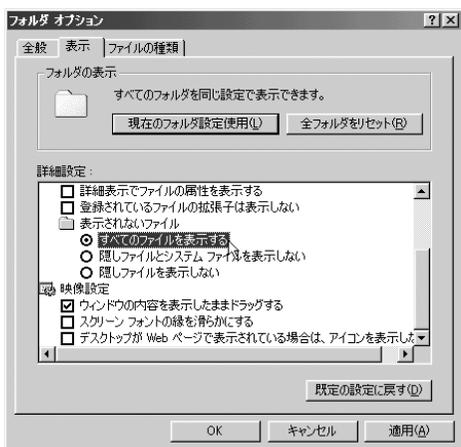
4 確認のメッセージが表示されるので、[はい] をクリックします。

プリンタードライバーが削除されます。

5 [マイ コンピュータ] をダブルクリックします。

6 [表示] から [フォルダオプション] をクリックします。

7 [表示] タブをクリックします。

8 [詳細設定] ボックスの一覧から [すべてのファイルを表示する] をクリックし、[登録されているファイルの拡張子は表示しない] チェックボックスをオフにします。

9 [OK] をクリックします。

10 [スタート] メニューの [検索] から [ファイルやフォルダ] を選びます。

11 [名前と場所] タブをクリックし、[名前] ボックスに「INF」と入力します。

12 [含まれる文字列] ボックスに「ipsio gx 3000sf」と入力します。

IPSiO GX 3000S の場合は「ipsio gx 3000s」と入力します。

13 [探す場所] ボックスの一覧から Windows がインストールされているハードディスクドライブを選び、[検索開始] をクリックします。

14 検索結果として表示されたファイルを右クリックし、[削除] をクリックします。

15 アンインストール終了後、Windows を再起動します。

参照

- ワンクリック設定の保存方法については、プリンタードライバーのヘルプを参照してください。
- プリンタードライバーをバージョンアップする方法については、『操作ガイド』「インターネットから最新のバージョンをインストールする」を参照してください。

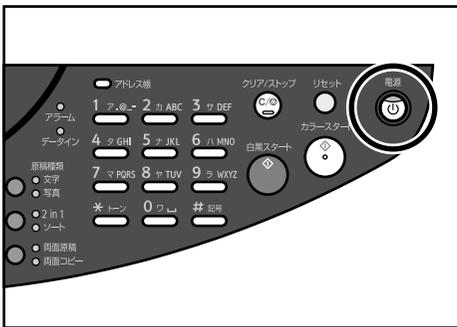
デバイスを削除する

本機が不正なデバイスとして、Windows に登録されてしまったときに、不正なデバイスを削除します。
誤って必要なデバイスを削除しないようにしてください。なお USB 接続の設定が正常に行われている場合は、この作業は必要ありません。

重要

- ここでは Windows 98 の画面と操作手順で説明しています。他の OS をお使いの場合には、リコーのホームページを参照してください。

2

1 本機の［電源］キーを押して電源をオンにします。

AQQ072S

2 ［スタート］メニューの［設定］から、［コントロールパネル］を選びます。

3 ［システム］をダブルクリックします。

4 ［デバイス マネージャ］タブをクリックします。

5 ［USB Printing Support］、または［お使いの機種名］をクリックします。

6 ［削除］をクリックします。

手順 5 で［USB Composite Device］が表示されていた場合は、そちらも削除してください。

7 **確認のメッセージが表示されるので、［OK］をクリックします。**

8 **［閉じる］をクリックします。**

補足

- 正しくドライバーがインストールされた場合は、［デバイスマネージャ］画面には、次のように表示されます。

TWAIN ドライバーをアンインストールする

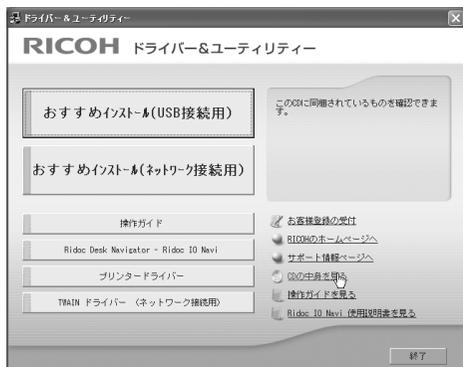
TWAIN ドライバーのアンインストールの方法を説明します。

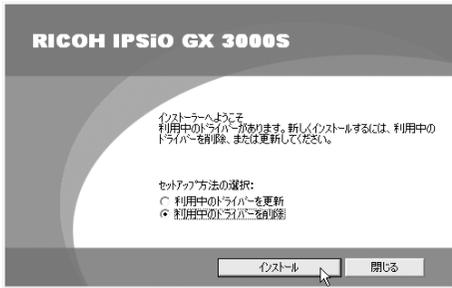
重要

- ここでは Windows XP の画面で説明しています。他の OS をお使いになる場合は、操作が異なる場合があります。表示される画面は、お使いの環境によって異なります。

1 **Windows を起動して、本製品に付属の CD-ROM「ドライバー＆ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM をセットすると、［ドライバー＆ユーティリティー］画面が表示されます。**

表示されない場合は、［マイ コンピュータ］または［エクスプローラ］から CD-ROM ドライブを開き、［Setup.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

2 **［CD の中身を見る］をクリックします。**

3 ［DRIVERS］の［TWAIN］フォルダにある［InstScan.exe］をダブルクリックします。

4 ［利用中のドライバーを削除］を選択し、［インストール］をクリックします。

アンインストールが始まります。

5 アンインストールの完了を確認し、［完了］をクリックします。

6 アンインストール終了後、Windows を再起動します。

PC FAX ドライバーをアンインストールする

GX 3000SF

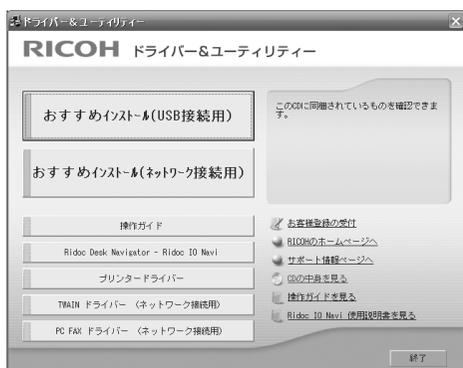
PC FAX ドライバーのアンインストールの方法を説明します。

★重要

- ここでは Windows XP の画面で説明しています。他の OS をお使いになる場合は、操作が異なる場合があります。表示される画面は、お使いの環境によって異なります。

2

1. Windows を起動して、本製品に付属の CD-ROM「ドライバー & ユーティリティー」をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。CD-ROM をセットすると、[ドライバー & ユーティリティー] 画面が表示されます。
   表示されない場合は、[マイ コンピュータ] または [エクスプローラ] から CD-ROM ドライブを開き、[Setup.exe] アイコンをダブルクリックしてください。

2. [CD の中身を見る] をクリックします。

3. [DRIVERS] の [PCFAX] フォルダにある [InstFax.exe] をダブルクリックします。

4. [利用中のドライバーを削除] を選択し、[インストール] をクリックします。

アンインストールが始まります。

5 アンインストールの完了を確認し、[完了] をクリックします。

6 アンインストール終了後、Windows を再起動します。

機器設定ユーティリティーをアンインストールする

GX 3000SF

機器設定ユーティリティーのアンインストールの方法を説明します。

重要

- ここでは Windows XP の画面で説明しています。他の OS をお使いになる場合は、操作が異なる場合があります。表示される画面は、お使いの環境によって異なります。

1 [スタート] メニューから [すべてのプログラム]、[機器設定ユーティリティー] を選び、[Uninstall] を選びます。

2 [OK] をクリックします。

3 アンインストール終了後、Windows を再起動します。

操作ガイドをアンインストールする

ソフトウェアのインストールに失敗したり、インストールが不完全な状態で終了した場合は、ソフトウェアをいったんアンインストールし、もう一度インストールしてください。

重要

- ここでは Windows XP の画面で説明しています。他の OS をお使いになる場合は、操作が異なる場合があります。表示される画面は、お使いの環境によって異なります。

2

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］、［お使いの機種名］を選び、［操作ガイドのアンインストール］を選びます。

2 ［次へ］をクリックします。

3 ［はい］をクリックします。

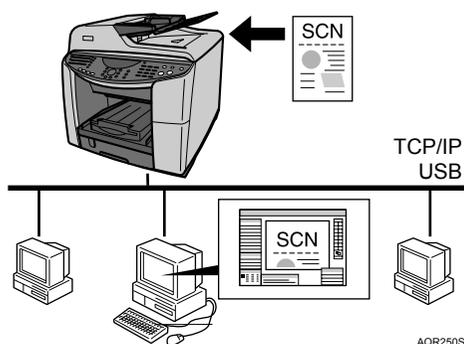
4 ［完了］をクリックします。

3. スキャナーを使用する

TWAIN を使って PC から操作したい

ここでは TWAIN ドライバーを使ってパソコンから文書をスキャンするときの、準備からスキャンまでの大まかな流れを説明します。

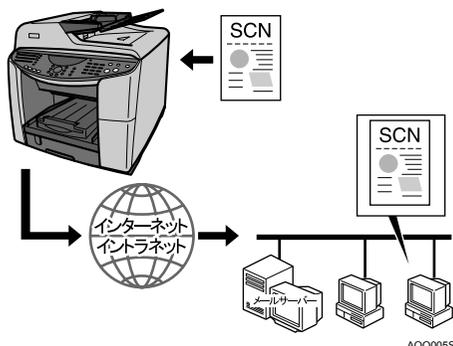
重要

- この機能をネットワーク環境で使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

1) 本機とパソコンを USB で接続するか、ネットワーク環境に接続します。
2) TWAIN ドライバーをインストールします。
3) ネットワーク環境に接続して TWAIN ドライバーを使用する場合は、本体の IP アドレスなど、ネットワークの設定をします。
4) スキャンのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（USB 接続用）」、「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「接続方法を確認する」、「USB 接続でドライバーをインストールする」、「ネットワーク接続でドライバーをインストールする」、『かんたんセットアップ』「おすすめインストール（USB 接続用）」、「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.45 「基本的な TWAIN スキャナーの操作手順」を参照してください。
- スキャナー機能のトラブルシューティングは、『操作ガイド』「操作部にメッセージが表示されたとき」、「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してください。

読み取った文書をメールで送信したい

ここではスキャンした文書を E メールでパソコンに送信するときの、準備から送信までの大まかな流れを説明します。

重要

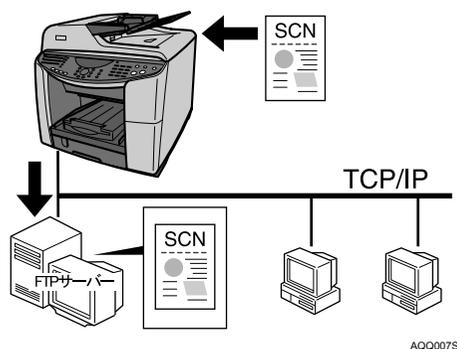
- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

1) 本機とパソコンをネットワーク環境に接続します。
2) 本体の IP アドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークの設定をします。
3) 送信者、SMTP サーバーやポート番号など、SMTP の設定をします。
4) 必要に応じて宛先を登録します。
5) スキャンのための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「ネットワーク設定」を参照してください。
- GX 3000SF : 手順 3 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。
- GX 3000S : 手順 3 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。
- GX 3000SF 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.79 「アドレス帳について(3000SF)」を参照してください。
- GX 3000S : 手順4の詳しい手順や設定については、P.81「アドレス帳について(3000S)」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「読み取った文書をメールで送信する」を参照してください。
- スキャナー機能のトラブルシューティングは、『操作ガイド』「操作部にメッセージが表示されたとき」、「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してください。

読み取った文書を FTP サーバーに送信したい

ここではスキャンした文書を FTP サーバーに送信するときの、準備から送信までの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

1) 本機とパソコンをネットワーク環境に接続します。
2) 本体の IP アドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークの設定をします。
3) 送信者、SMTP サーバーやポート番号など、SMTP の設定をします。
4) 必要に応じて宛先を登録します。
5) スキャンのための操作をします。

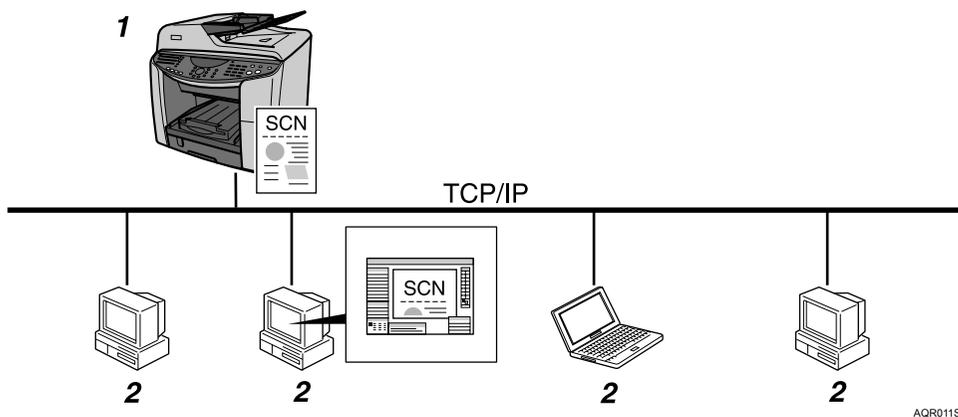
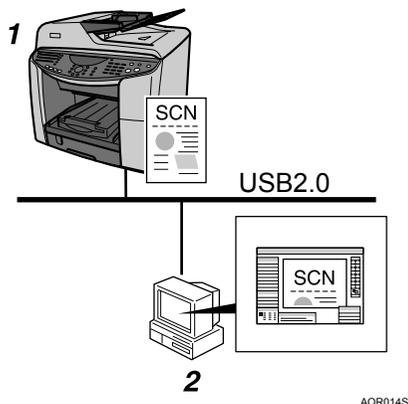
参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「ネットワーク設定」を参照してください。
- GX 3000SF: 手順 3 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。
- GX 3000S: 手順 3 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.108 「Web Image Monitor で設定できる項目」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「読み取った文書をフォルダーに送信する」を参照してください。
- スキャナー機能のトラブルシューティングは、『操作ガイド』「操作部にメッセージが表示されたとき」、「スキャナー機能がうまく使えないとき」を参照してください。

TWAIN スキャナーの概要

TWAIN スキャナーを使った読み取りの概念について説明します。
接続方法は、USB2.0 かイーサネットでつなぐ 2 種類の方法があります。

重要

・イーサネットで接続するためには、オプションのネットワークボードが必要です。

1 本機

クライアントコンピューターからの指示を受信し、原稿を読み取ります。読み取った文書をクライアントコンピューターに送信します。

2 クライアントコンピューター

Ridoc Desk Navigator などの TWAIN 対応アプリケーションから、スキャナーの設定、操作をします。本機で読み取られた文書を受信し、TWAIN 対応アプリケーションで表示します。

補足

・TWAIN スキャナーとして使用するときは、操作部の［スキャナー］キーを押す必要はありません。TWAIN スキャナー以外の機能を使うときは［スキャナー］キーを押して操作します。

基本的な TWAIN スキャナーの操作手順

TWAIN スキャナーを使った読み取りの基本的な操作手順について説明します。

重要

- TWAIN スキャナーを利用するには、Ridoc Desk Navigator や PageManager などの TWAIN 対応アプリケーションと、TWAIN ドライバーをクライアントコンピューターにインストールする必要があります。

Windows XP で Ridoc Desk Navigator Lt を使用した操作を例にして説明します。本機には Ridoc Desk Navigator Lt は同梱されていません。PageManager を使用する場合は、PageManager に同梱のマニュアルを参照してください。

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］をポイントし、［RICOH Ridoc Desk Navigator］から［Ridoc Desk Navigator］をクリックします。

2 ［ツール］メニューの［スキャナー設定］をクリックします。

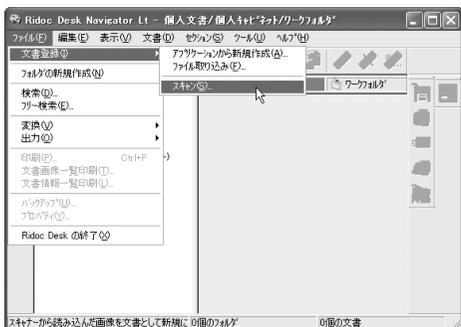
3 ［スキャナー選択］をクリックします。

4 ソースの選択ボックス内に表示されている、お使いの機器名をクリックし、［選択］をクリックします。

5 ［OK］をクリックします。

6 スキャナーに原稿をセットします。

7 [ファイル] メニューの [文書登録] から [スキャン] をクリックし、スキャナーコントロールダイアログを表示します。

または画面のをクリックします。

TWAIN ドライバーでスキャナーを操作するダイアログを、「スキャナーコントロールダイアログ」と呼びます。

8 原稿の種類や読み取る目的、セット方向などに応じて、各種設定をします。

詳しくは、TWAIN ドライバーのヘルプを確認してください。

9 スキャナーコントロールダイアログの [読み取り] をクリックします。

次の原稿があるときは同じ場所に原稿をセットし、[読み取り] をクリックします。
次の原稿がないときは [閉じる] をクリックします。

10 [ファイル] メニューの [終了] をクリックします。

11 文書名を入力し、[OK] をクリックします。

Ridoc Desk ビューアが閉じ、Ridoc Desk Navigator Lt にイメージが保存されます。

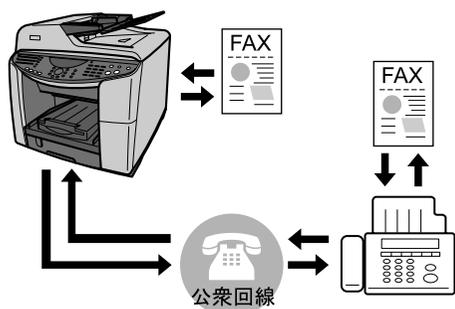
補足

- すでにスキャナーが選択されている場合、次に変えるまでスキャナー選択は必要ありません。
- Ridoc Desk Navigator では、読み取った原稿を編集したり印刷したりすることもできます。Ridoc Desk Navigator について詳しくは、Ridoc Desk Navigator 関連の説明書を参照してください。
- スキャナーコントロールダイアログのタイトルバーには、現在接続されているスキャナー名が表示されます。ネットワーク上に複数の同機種スキャナーがあるときは、スキャナー名が目的のスキャナーかどうか確認します。目的のスキャナーと異なる場合は [スキャナー選択] をクリックし、選択しなおしてください。

4. ファクスを使用する

本機をファクス専用機として使いたい

GX 3000SF

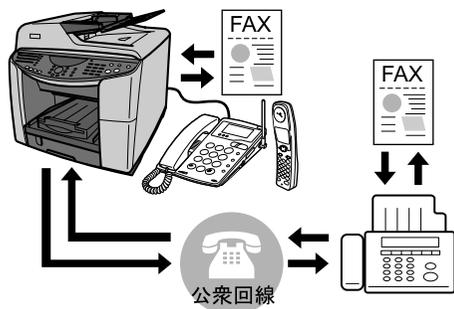
ここでは本機をファクスとして使うときの、準備からファクスの送受信までの大まかな流れを説明します。

1) 本機と電話回線を接続します。
2) 電話回線の種別を設定します。
3) 送信のための設定をします。
4) 受信のための設定をします。
5) 必要に応じて宛先を登録します。
6) ファクス送受信のための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.52 「一般電話回線に接続する場合」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.71 「電話回線の種別を設定する」、P.70 「電話回線の設定をする」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.62 「送信機能の設定をする」、P.74 「発信元の情報を登録する」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.63 「受信機能の設定をする」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、P.79 「アドレス帳について（3000SF)」を参照してください。
- 手順 6 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「ファクスを送信する前に」、「ファクスを受信する前に」を参照してください。
- ファクス機能のトラブルシューティングは、『操作ガイド』「操作部にメッセージが表示されたとき」、「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。

外付け電話機や留守番電話機を接続して使いたい

GX 3000SF

ここでは、本機に外付け電話機を接続して電話とファクスを切り替えて本機を使うときの、準備の大まかな流れを説明します。

AQQ009S

1) 本機と電話回線を接続します。
2) 本機に外付け電話機を接続します。
3) 電話回線の種別を設定します。
4) 送信のための設定をします。
5) 受信モードなど、受信のための設定をします。
6) 必要に応じて宛先を登録します。
7) ファクス送受信のための操作をします。

参照

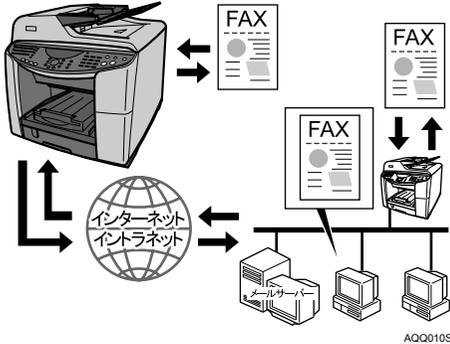
- 手順 1 の詳しい手順や設定については、P.52 「一般電話回線に接続する場合」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、P.53 「本機に電話機を取り付ける場合」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、P.71 「電話回線の種別を設定する」、P.70 「電話回線の設定をする」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、P.62 「送信機能の設定をする」、P.74 「発信元の情報を登録する」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、P.63 「受信機能の設定をする」を参照してください。
- 手順 6 の詳しい手順や設定については、P.79 「アドレス帳について（3000SF）」を参照してください。
- 手順 7 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「ファクスを送信する前に」、「ファクスを受信する前に」を参照してください。
- ファクス機能のトラブルシューティングは、『操作ガイド』「操作部にメッセージが表示されたとき」、「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。

インターネットファクスを使いたい

GX 3000SF

ここでは本機をインターネットファクスとして使うときの、準備からインターネットファクスの送受信までの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

1) 本機をネットワーク環境に接続します。
2) 本体の IP アドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークの設定をします。
3) 送信者、SMTP サーバーやポート番号など、SMTP の設定をします。
4) POP3 サーバーやポート番号など、POP3 の設定をします。
5) インターネットファクス送受信のための操作をします。

参照

- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「インターネットファクス・メール送信機能を使うには（SMTP 設定）」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「インターネットファクス・メール受信機能を使うには（POP3 設定）」を参照してください。
- 手順 5 の詳しい手順や設定については、P.79 「アドレス帳について（3000SF）」、『操作ガイド』「インターネットファクス」を参照してください。
- ファクス機能のトラブルシューティングは、『操作ガイド』「操作部にメッセージが表示されたとき」、「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。

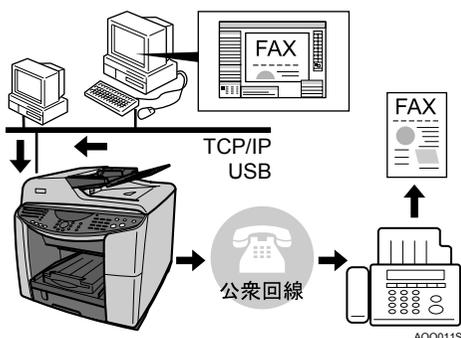
4

PC ファクスを使いたい

GX 3000SF

ここではパソコンからファクス文書を出力せずにファクス送信するときの、準備から PC ファクスの送信までの大まかな流れを説明します。

重要

- この機能をネットワーク環境で使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

1) 本機とパソコンを USB で接続するか、ネットワーク環境に接続します。
2) PC FAX ドライバーをインストールします。
3) ネットワーク環境に接続して PC FAX ドライバーを使用する場合は、本体の IP アドレスなど、ネットワークの設定をします。
4) PC ファクスを送信するための操作をします。

参照

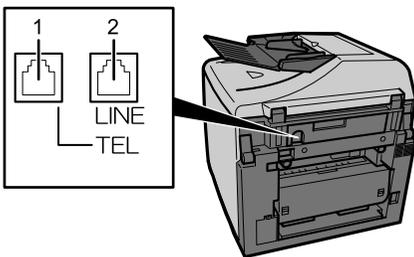
- 手順 1 の詳しい手順や設定については、『かんたんセットアップ』「インストールする前に（USB 接続用）」、「インストールする前に（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 2 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「接続方法を確認する」、「USB 接続でドライバーをインストールする」、「ネットワーク接続でドライバーをインストールする」、『かんたんセットアップ』「おすすめインストール（USB 接続用）」、「おすすめインストール（ネットワーク接続用）」を参照してください。
- 手順 3 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「ネットワーク設定」を参照してください。
- 手順 4 の詳しい手順や設定については、『操作ガイド』「パソコンからファクス機能を活用する」を参照してください。
- ファクス機能のトラブルシューティングは、『操作ガイド』「操作部にメッセージが表示されたとき」、「ファクス機能がうまく使えないとき」を参照してください。

電話線を接続する

GX 3000SF

電話回線と外付け電話機の接続方法について説明します。

重要

- ここでは一般的な接続例を紹介しています。接続例以外の方法で接続したい場合は、サービス実施店に連絡してください。
- 間違った接続をするとファクスの送受信ができなかったり、他の機器に悪影響を与える可能性が有ります。
- IP 電話でのファクス送受信は、設置する環境によって回線の品質が左右されることが多く、送受信時にデータが一部途切れる可能性があるため、動作保証できません。
- NTT とモデムダイヤルイン／ナンバー・ディスプレイサービスの契約をしている場合、本機のユーザーパラメーター設定で「呼出し信号誤検出防止機能」を「防止する」に設定してください。「防止する」に設定しないと FAX 受信ができなくなります。

1. 外付け電話機接続端子（TEL）
2. 電話回線接続端子（LINE）

補足

- 電話回線接続端子には「LINE」、外付け電話機接続端子には「TEL」の刻印がされています。確認をしてから接続してください。
- 本機は、G3 回線のみをサポートしています。

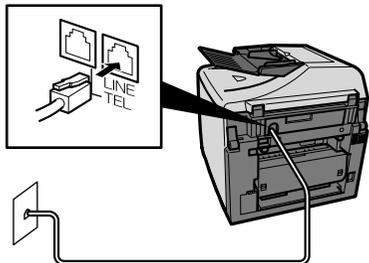
参照

- P.74 「発信元の情報を登録する」
- P.59 「ユーザーパラメーター設定」

一般電話回線に接続する場合

一般電話回線に接続する方法について説明します。

ファクス専用として使う場合

すべての呼び出しに対してファクスで受信します。呼出音は鳴りません。（呼出音を鳴らす場合は、外付け電話機が必要になります）

AQR036S

電話線はコネクターカバーを開けて、「LINE」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」に設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

補足

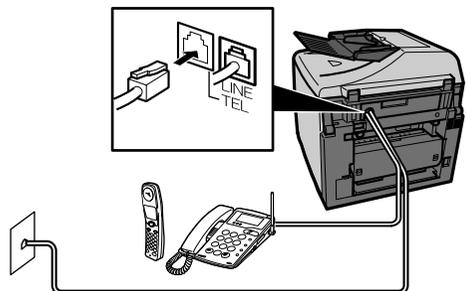
- 各種サービスの提供を受けている電話回線は、ファクス用に使用できない場合があります。詳しくはサービスを提供している電話会社にお問合せください。

参照

- P.71 「電話回線の種別を設定する」
- P.63 「受信機能の設定をする」
- P.68 「受信モード（ファクス専用）」

4

本機に電話機を取り付ける場合

本機に外付け電話機を接続できます。本機に接続した電話機で電話をかけたり、受けたりできます。

AQR038S

外付け電話機はコネクターカバーを開けて、「TEL」側に接続してください。
受信モードを「電話優先」、「手動」のいずれかに設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

♦ 留守番電話機を取り付ける場合

外付け電話機として留守番電話機を接続する場合、受信モードを「電話優先」に設定し、留守番電話検出時間とファクス検出時間の設定を行ってください。

補足

- 電話線は「LINE」側に接続してください。
- 外付け電話機の性能によっては、接続できなかったり機能の一部が使えなくなることがあります。

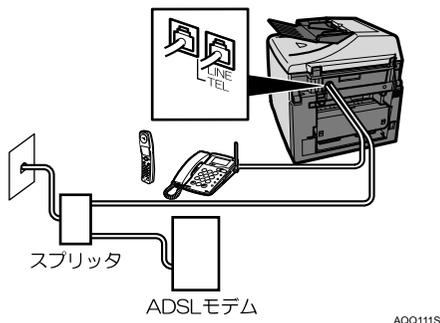
参照

- P.69 「受信モードを設定する」
- P.71 「電話回線の種別を設定する」
- P.63 「受信機能の設定をする」
- P.67 「受信モード（自動）」
- P.67 「受信モード（手動）」
- P.69 「受信モード（電話優先）」

ADSL 環境に接続する場合

本機を ADSL 環境に接続する方法について説明します。

重要

- この接続は代表例であり、すべての接続および動作を保証するものではありません。詳しい設定・接続方法に関しては、スプリッタ・ADSL モデムの取扱説明書を参照してください。
- ブランチ接続（並列接続）はしないでください。一つの電話回線に複数台の電話機を接続すると、送信した画像品質が低下したり、正しくファクスの送信や受信ができないなど、通信エラーの原因となります。

電話線を「LINE」側に、外付け電話機を「TEL」側に接続してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

補足

- スプリッタと ADSL モデムが一体のものもあります。その場合は新たにスプリッタを介する必要はありません。

参照

- P.69 「受信モードを設定する」
- P.71 「電話回線の種別を設定する」
- P.63 「受信機能の設定をする」
- P.67 「受信モード（自動）」
- P.67 「受信モード（手動）」
- P.69 「受信モード（電話優先）」

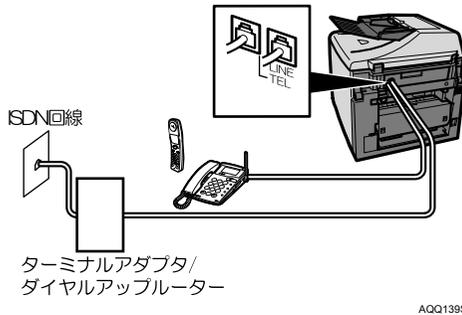
ISDN 環境に接続する場合

本機を ISDN 環境に接続する方法について説明します。

重要

- ISDN 回線への直接接続には対応していません。
- 詳しい説明については、ターミナルアダプタ、またはダイヤルアップルーターの取扱説明書を参照してください。

電話番号が 1 つの場合

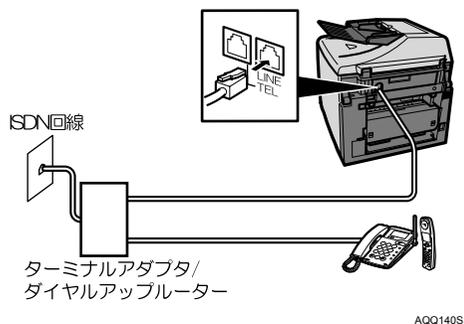
電話番号が 1 つの場合の接続例について説明しています。
ここでの接続例は、電話とファクスを同時に使用できません。

電話線を「LINE」側に、外付け電話機を「TEL」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」、「電話優先」、「手動」のいずれかに設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

参照

- P.69 「受信モードを設定する」
- P.71 「電話回線の種別を設定する」
- P.63 「受信機能の設定をする」
- P.67 「受信モード（自動）」
- P.67 「受信モード（手動）」
- P.69 「受信モード（電話優先）」

4

電話番号が 2 つの場合

電話番号が 2 つの場合の接続例について説明しています。
ここでの接続例は、ファクス通信中に電話を使用できます。

電話線はコネクターカバーを開けて、「LINE」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」に設定してください。
電話回線の種別を「外線」に設定してください。

補足

- ターミナルアダプタ、またはダイヤルアップルーターのファクス番号が割り当てられているポートに本機を接続してください。

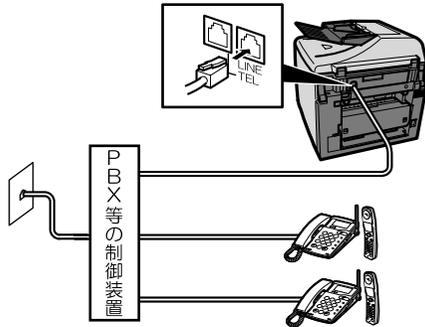
参照

- P.69 「受信モードを設定する」
- P.71 「電話回線の種別を設定する」
- P.63 「受信機能の設定をする」
- P.67 「受信モード（自動）」

構内交換機（PBX）の内線に本機を接続する場合

構内交換機（PBX）の内線に本機を接続する方法について説明します。

重要

- 構内交換機（PBX）の内線に本機を接続する場合、構内交換機（PBX）主装置の設定をアナログ 2 芯用に変更してください。設定を変更しないと本機をご利用になれません。詳しくは、配線工事を行った販売店にご連絡ください。

電話線はコネクターカバーを開けて、「LINE」側に接続してください。
受信モードを「ファクス専用」に設定してください。
電話回線の種別を「内線」に設定してください。

参照

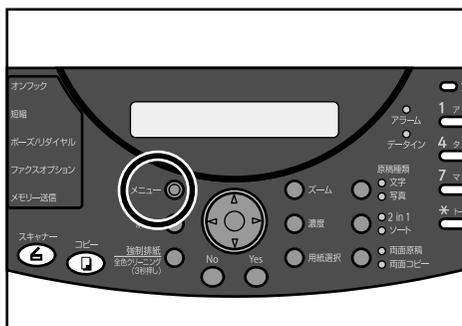
- P.69 「受信モードを設定する」
- P.71 「電話回線の種別を設定する」
- P.73 「加入電話回線（外線）、自営構内回線（内線）の種別を選択する」
- P.63 「受信機能の設定をする」
- P.67 「受信モード（自動）」

4

ファクスの初期設定をする

GX 3000SF

ファクスの初期設定を行います。
ここでは基本的なメニュー画面の操作のしかたについて説明しています。
ここでは例として、「キホンセッテイ」の「ファクス バンゴウ」を選択して本機（発信元）のファクス番号を登録します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［キホンセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

キホンセッテイ？	▲
OK=Yes ／ マタハ 1－3	▼

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［ファクス バンゴウ ?］を表示させ、［Yes］キーを押します。

2 ファクス バンゴウ？	▲
OK=Yes	▼

4 テンキーを使って、ファクス番号を入力します。

入力を間違えた場合は、［◀］、［▶］を使ってカーソルを左右に動かし、［No］キーを押して該当の数字を削除してから、番号を再入力します。
［クリア / ストップ］キーを押すと、すべての数字を削除します。

5 番号入力が完了したら [Yes] キーを押します。

［キホンセッテイ］の画面が表示されます。
［No］キーを押すと通常の画面が表示されます。

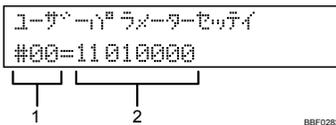
参照

• P.74 「発信元の情報を登録する」
• P.97 「入力のしかた」

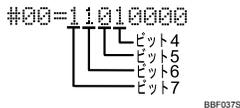
ユーザーパラメーター設定

ユーザーパラメーター設定で各種の機能を利用状況にあった設定に変更できます。パラメーターのスイッチを操作して変更します。
お使いの環境に合わせて、パラメーター設定でダイヤルトーンなどを検出するように設定を変更してください。

◆ スイッチとビット

ユーザーパラメーター設定のスイッチは、1 と 0 の組み合わせによる 8 桁の数字の並びで構成され、その 1 桁 1 桁をビットと言います。

1 **スイッチ**

2 **ビット**

右端がビット 0、左端がビット 7 になります。ビットの数字を 0 または 1 に変更することで、機能の設定を変えることができます。

上図はスイッチ 00 の工場出荷時の表示です。変更できるビットと設定内容については、ユーザーパラメーター設定一覧表を参照してください。

♦ ユーザーパラメーター設定一覧表

スイッチ	ビット	項目	0	1
00	7	発信時にダイヤルトーンを検出する	検出しない（すべて発信する）	検出する（検出したときは発信する）※
	6	発信時（外線発信番号を発信する前）にダイヤルトーンを検出する	検出しない（すべて発信する）	検出する（検出したときは発信する）※
	5	発信時（外線発信番号を発信した後）にダイヤルトーンを検出する	検出しない（すべて発信する）※	検出する（検出したときは発信する）
	4	発信時に話中音を検出する	検出しない（相手ファクスからの応答を待つ）	検出する（検出したときは回線を切断する）※
01	7	リモート切り替え機能	使用しない※	使用する
	6	呼出し信号誤検出防止機能	防止しない※	防止する
	5	Fネット無鳴動着呼選択	着呼しない※	着呼する
	4	相手先繰り返し入力	使用しない※	使用する

※は工場出荷時の設定値です。

参照

• P.67 「外付け電話機で切り替える（リモート切替）」
• P.51 「電話線を接続する」
• 『操作ガイド』「F ネットから受信する」
• 『操作ガイド』「相手先繰り返し入力」

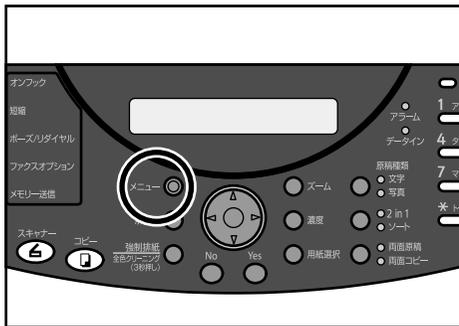
4

ユーザーパラメーター設定のしかた

ユーザーパラメーター設定の設定方法を説明します。

重要

- ユーザーパラメーター設定一覧表に載っていないビットは変更しないでください。
- 本機の設置環境を確認し、必要な設定を行なってからパラメーターのスイッチを操作してください。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［システムショキセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
システムショキセッテイ？          ▲
  OK=Yes  /  マタハ  1-7         ▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［7 ユーザーパラメーターセッテイ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
7  ユーザーパラメーターセッテイ？  ▲
  OK=Yes                          ▼
```

4 ［▲］または［▼］キーを押して、目的のスイッチを表示させせます。

```
ユーザーパラメーターセッテイ
#00=11010000
```

5 テンキーの［0］または［1］を押して、変更するビットを上書きします。

```
ユーザーパラメーターセッテイ
#00=10000000
```

使用できるテンキーは、［0］または［1］です。カーソルを移動するときは、［◀］または［▶］キーを押します。

4

6 **[Yes] キーを押します。**

[システムショキセッテイ] の設定画面が表示されます。
[No] キーを押すと通常の画面が表示されます。

送信機能の設定をする

「送信設定（ソウシンセッテイ）」で送信機能の設定をします。

◆ **読み取り濃度（ヨミトリノウド）**
原稿を読み取るときの濃度を−1〜+1 の間で調整します。
工場出荷時は「0」（3 段階調整の真中）に設定されています。

◆ **解像度（カイゾウド）**
原稿を読み取るときの解像度を選択します。
読み取る解像度をフツウジ、チイサイジ、コマカイジ、シャシンから選択します。
[フツウジ] で送信する場合、細い文字（横細線）は欠ける可能性があるので、その場合は [チイサイジ] で送信することをお勧めします。
工場出荷時は [フツウジ] に設定されています。

◆ **メモリー送信（メモリーソウシン）**
メモリー送信機能を常時使用するかしないかを設定します。
工場出荷時は [スル] に設定されています。

◆ **発信元情報印字（ハッシンモトジョウホウインジ）**
発信元情報印字を「スル」にすると、登録した情報を相手先の用紙に印字します。
工場出荷時は [スル] に設定されています。

◆ **自動再送信（ジドウサイソウシン）**
リダイヤルをするかしないか、リダイヤルする場合のリダイヤルの間隔と最大ダイヤル回数の設定は「システム初期設定」の「国 / 地域」で設定した国により異なります。
相手先が話し中でつながらなかったり、送信中のエラーで正しく送信できなかったときは、2〜99 分間隔で最大 10 回ダイヤルを繰り返します。
ただし、直接送信の場合、自動再送信は 1 回になります。
工場出荷時は [スル] に設定されています。

参照

・発信元情報の入力については、P.74 「発信元の情報を登録する」を参照してください。

受信機能の設定をする

「受信設定（ジュシンセッテイ）」で受信機能の設定をします。

♦ **受信印刷タイマー（ジュシンインサツタイマー）**

受信した文書の印刷禁止時間帯を指定します。

印刷許可時間帯であれば受信文書はすぐに印刷され、印刷禁止時間帯はメモリー受信して印刷しません。印刷許可時間帯になってから印刷します。

・スル

・カイシジコク

00:00〜23:59

・シュウリョウジコク

00:00〜23:59

・パスワード

パスワードは数字 4 桁で入力してください。

パスワードは設定を［シナイ］に変更するときに確認されますので、忘れないでください。

・シナイ

工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ **リンギング回数（リンギングカイスウ）**

鳴らすベルの回数（呼び出し回数）を設定できます。

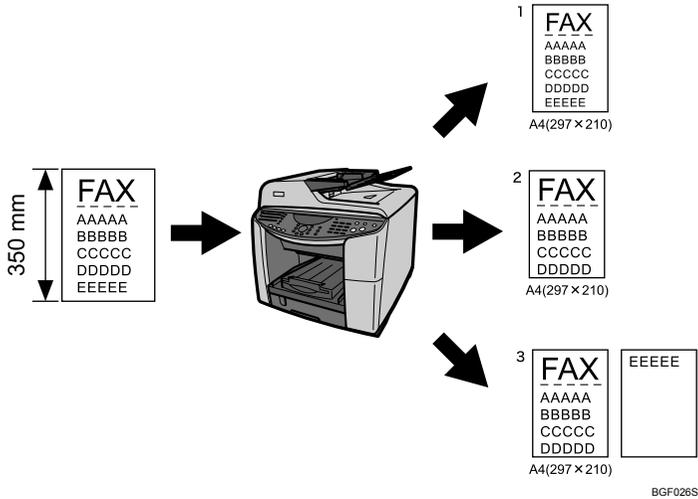
最大回数と最小回数は［システムショキセッテイ］の［クニ / チイキ］で設定した国により異なります。

工場出荷時は［システムショキセッテイ］の［クニ / チイキ］で設定した国により異なります。

［ニホン］の工場出荷時は［2］に設定されています。

◆ **自動縮小受信（ジドウシュクショウジュシン）**

受信した文書を縮小して印刷するかしないか、またははみ出した分（最大 24mm まで）を裁断するかを設定します。

通常は 2 枚に分割して印刷される文書を 1 枚の用紙に縮小して印刷します。

1) スル
2) カット
3) シナイ

工場出荷時は［スル］に設定されています。

◆ **受信方法（ジュシンホウホウ）**

受信した文書を 1 ページ受信した時点で印刷するか、全ページ受信してから印刷するかを設定します。

・メモリー
　全ページ受信してから印刷します。
・直接（チョクセツ）
　1 ページ受信した時点で印刷します。

工場出荷時は［メモリー］に設定されています。

◆ **受信モード（ジュシンモード）**

受信モードを切り替えます。

受信モードには「ジドウ」、「シュドウ」、「ファクスセンヨウ」、および「デンワユウセン」の 4 つがあります。

「シュドウ」および「デンワユウセン」は、外付け電話機が付いているときに使用できます。

工場出荷時は「ファクスセンヨウ」に設定されています。

- 自動（ジドウ）
  本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。
  電話がかかってくるとファクスとして自動的に受信します。相手が電話のときは手動で電話に切り替えます。
  「ジドウ」モードに設定したときは、続けて以下の項目も設定します。
  - 呼び出し開始時間（ヨビダシ カイシジカン）
    0～30 秒の間で設定します。工場出荷時は「8 秒」に設定されています。
  - 呼び出し時間（ヨビダシジカン）
    10～45 秒の間で設定します。工場出荷時は「15 秒」に設定されています。
  - ファクス非検出時動作（ファクスヒケンシュツジドウサ）
    「ジュシン」または「セツダン」に設定します。工場出荷時は「ジュシン」に設定されています。
- 手動（シュドウ）
  本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。
  電話がかかってくるとベルを鳴らします。相手がファクスのときは手動でファクスに切り替えます。
- ファクス専用（ファクスセンヨウ）
  相手が電話のときは回線が自動的に切断されます。
- 電話優先（デンワユウセン）
  外付け電話機として留守番電話機を接続できます。電話がかかってくると留守番電話機が応答します。
  相手先が自動送信ファクスの場合は、応答メッセージ中か応答メッセージ後に「ポー」というファクス信号音を検出すると、自動的にファクスに切り替わります。
  相手先が電話の場合は、相手からのメッセージを留守番電話機に録音します（通常の留守番電話機と同じです）。
  留守番電話機によってはうまく動作しない場合があります。
  「デンワユウセン」モードに設定したときは、続けて以下の項目も設定します。
  - 留守番電話検出時間（ルスバンデンワケンシュツジカン）
    10～30 秒の間で設定します。工場出荷時は「20」秒に設定されています。
  - ファクス検出時間（ファクスケンシュツジカン）
    10～70 秒の間で設定します。工場出荷時は「40」秒に設定されています。

◆ **メモリー転送（メモリーテンソウ）**

受信した文書を転送するかしないか、または転送と印刷をするかを設定します。

- スル
- 転送と印刷（テンソウトインサツ）
- シナイ

「スル」と「テンソウトインサツ」に設定したときは、続けて以下の項目も設定します。

- 転送宛先

工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ **相手先情報印字（アイテサキジョウホウインジ）**

受信した文書にフッターをつけて印刷するかしないかを設定します。

・スル
・シナイ

工場出荷時は［シナイ］に設定されています。

♦ **ID 受信（ID ジュシン）**

受信する相手先を制限します。アドレス帳に登録した相手先以外からのファクスは受け付けないので、間違いファクスやいたずらファクスなどで、用紙をむだにすることがなくなります。

・スル
・シナイ

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

4

♦ **ファクス優先トレイ（ファクスユウセントレイ）**

複数のトレイに同じサイズの用紙をセットしているとき、優先的に給紙するトレイを設定します。

たとえば、トレイ 1 に A4 の白い用紙、トレイ 2 に A4 の黄色い用紙をセットし、ファクスはトレイ 2 から優先的に給紙するように、コピーはトレイ 1 から優先的に給紙するように設定します。A4 サイズの文書をファクスで受信したときは黄色の用紙に、A4 サイズのコピーをしたときは、白い用紙に印刷するので、ひと目で区別できます。

・トレイ 1
・トレイ 2
・テサシ
・ジドウ

工場出荷時は［トレイ 1］に設定されています。

参照

・コピー機能の優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）については、『操作ガイド』「コピー機能の設定をする」を参照してください。
・プリンター機能の優先給紙トレイ（ユウセンキュウシトレイ）については、『操作ガイド』「エンジン設定」を参照してください。

受信モード（自動）

電話がかかってくると、相手が電話かファクスかを判断し、自動的に電話とファクスを切り替えます。
ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出音を鳴らすように設定できます。

重要

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。

補足

- 「ジドウ」で受信する場合は、「受信設定（ジュシンセッテイ）」で次の設定ができます。
  - 着信してから呼出音を鳴らし始めるまでの時間（ヨビダシ カイシジカン）
  - 呼出音を鳴らしている時間（ヨビダシ ジカン）
  - ファクス信号を検出できない場合は、ファクスを受信するか、通信を切断するか（ファクス ヒケンシュツジドウサ）

受信モード（手動）

外付け電話機を使用し、手動でファクスを受信する方法です。電話がかかってくると呼出音が鳴ります。相手がファクスのときは、手動でファクスに切り替えて受信します。

重要

- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。

外付け電話機で切り替える（リモート切替）

外付け電話機を使って電話からファクスに切り替えます。

重要

- リモート切替は、使用している回線がプッシュ回線、もしくは使用している回線がダイヤル回線でも外付け電話機にトーン切替機能がある場合に対応します。

1 呼出音が鳴ったら、外付け電話機の受話器を上げます。

「ポー」という音が聞こえてきたらファクスを受信できます。

```
＊ジュワキ　シヨウチュウ　デス＊
```

2 外付け電話機の「2」を 2 回押して受話器を置きます。

受信が開始されます。

補足

- リモート切替は電話機によっては使えないことがあります。
- リモート切替できるようにするかどうか「ユーザーパラメーター設定」で設定できます。

参照

- P.59 「ユーザーパラメーター設定」

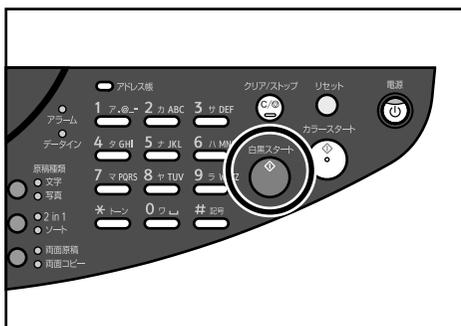
本機の操作部で切り替える

本機の操作部で電話からファクスに切り替えます。

1 呼出音が鳴ったら、外付け電話機の受話器を上げます。

「ポー」という音が聞こえてきたらファクスを受信できます。

ジュワキ　シヨウチュウ　デス

2 [白黒スタート] キーを押します。

AQQ039S

受信が開始されます。

受信が完了すると、初期画面に戻ります。

受信を途中で中止するときは、[クリア / ストップ] キーを押します。

補足

・手順 2 で [白黒スタート] キーを押すときに、ADF に原稿がセットされていると送信が開始されます。ADF に原稿がセットされていないことを確認してから、[白黒スタート] キーを押してください。

受信モード（ファクス専用）

すべての呼び出しに対してファクスで受信します。相手が電話のときは切断します。通常はこのモードに設定されています。

受信モード（電話優先）

本機に留守番電話機を接続しておくと、相手がファクスのときは自動的にファクスを受信し、相手が電話の場合は留守番電話機が応答します。

重要

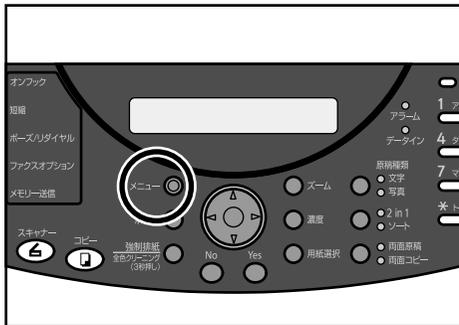
- 本機を電話として使用するには、外付け電話機が必要です。

補足

- 「デンワユウセン」で受信する場合は、「受信設定（ジュシンセッテイ）」で次の設定ができます。
  - 着信してから留守番電話機が応答メッセージを流し始めるまでの時間（留守番電話検出時間）
  - 留守番電話機から応答メッセージが流れている時間（ファクス検出時間）
    応答メッセージが流れている間にファクスの信号音が検出されると、本機がファクスを受信します。電話のときは、留守番電話機が応答します。

受信モードを設定する

お使いの環境に合わせて、ファクスの受信モードを設定します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

2 ［▲］［▼］キーを押して、［ジュシンセッテイ］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
ジュシンセッテイ？                ▲
 OK=Yes / マタハ 1－9            ▼
```

3 ［▲］［▼］キーを押して、［ジュシンモード］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
5 ジュシンモード？               ▲
 OK=Yes                          ▼
```

4 **[◀][▶]キーを押して、設定したい受信モードを選択し、[Yes]キーを押します。**

[◀][▶]キーを押すごとに*マークが移動します。

```
◀ *ファクスセンヨウ　　デンワユウセン
  ◀,▶  &  Yes
```

受信設定画面が表示されます。

[No]キーを押すと通常の画面が表示されます。

補足

- 工場出荷時は「ファクスセンヨウ」に設定されています。

参照

- P.63「受信機能の設定をする」

4

電話回線の設定をする

「回線設定（カイセンセッテイ）」で電話回線の設定をします。

◆ ダイヤル / プッシュ（ダイヤル / プッシュ）

接続した電話回線の種別を設定します。

- プッシュ（プッシュ回線）
- ダイヤル（ダイヤル回線）
  ダイヤル回線には 10PPS と 20PPS の 2 種類があり、地域によって異なります。

工場出荷時は「プッシュ」に設定されています。

[システムショキセッテイ]の[クニ / チイキ]で設定した国によりダイヤルが選べなくなります。

[ダイヤル]の[20pps]を選ぶと電話がつながらない国があります。つながらない場合は[10pps]に変更してください。

◆ 外線 / 内線（ガイセン / ナイセン）

加入電話回線（外線）または自営構内回線（内線）を設定します。

- ガイセン
- ナイセン
  外線発信番号（ガイセンハッシン No.）をテンキーで入力します。登録できる数字の桁数は 4 桁です。

工場出荷時は「ガイセン」に設定されています。

参照

- P.71「電話回線の種別を設定する」

電話回線の種別を設定する

電話回線の種別を設定します。
電話回線にはプッシュ回線とダイヤル回線があります。またダイヤル回線には 10PPS と 20PPS の 2 種類があり、地域によって異なります。

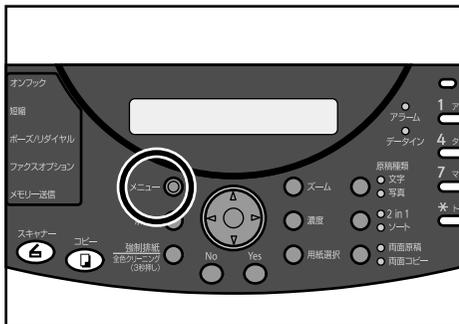
補足

- NTT の回線を利用していて回線の種類がわからないときは、NTT にお問い合わせください。正しく設定しないと、受信はできますが、送信できないことがあります。
- 加入電話回線（外線）の種類がわからないときは、［カイセン セッテイ］の設定を「プッシュ」にして、177（天気予報）などにオンフックでダイヤルしてみます。正しくつながったときは「プッシュ回線」です。また、自営構内回線（内線）の種類がわからないときも同様に、G3 アナログ回線の「ダイヤル / プッシュ選択」の設定を「プッシュ」にして、内線の電話番号などにオンフックでダイヤルしてみます。正しくつながったときはプッシュ回線です。つながらなかったときは「20PPS」に設定して、同じようにオンフックでダイヤルしてみます。正しくつながったときは 20PPS、つながらなかったときは 10PPS です。

4

［プッシュ］を選択する

電話回線の種別にプッシュ回線を指定します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

2 ［▲］［▼］キーを押して、［カイセン セッテイ］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
カイセン　セッテイ？　　　　　▲
　OK=Yes　／　マタハ　1－2　▼
```

3 ［▲］［▼］キーを押して、［ダイヤル / プッシュ］を選択し、［Yes］キーを押します。

```
1　ダイヤル／プッシュ？　　　▲
　OK=Yes　　　　　　　　　　▼
```

4 **[◀][▶]キーを押して、[プッシュ]を選択し、[Yes]キーを押します。**

[◀]または[▶]キーを押すごとに＊マークが移動します。

```
＊プッシュ　　ダイヤル
 ◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

受信設定画面が表示されます。

[No]キーを押すと、初期画面に戻ります。

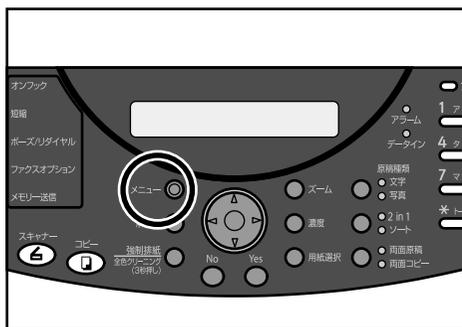
参照

・P.70「電話回線の設定をする」

[ダイヤル]を選択する

電話回線の種別にダイヤルを指定します。

4

1 **操作部の[メニュー]キーを押します。**

AQQ030S

2 **[▲][▼]キーを押して、[カイセン セッテイ]を選択し、[Yes]キーを押します。**

```
カイセン　セッテイ？　　　　　▲
 ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－２　▼
```

3 **[▲][▼]キーを押して、[ダイヤル/プッシュ]を選択し、[Yes]キーを押します。**

```
１　ダイヤル／プッシュ？　　　▲
 ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　　　▼
```

4 **[◀][▶]キーを押して、[ダイヤル]を選択し、[Yes]キーを押します。**

[◀]または[▶]キーを押すごとに＊マークが移動します。

```
＊プッシュ　　ダイヤル
 ◀,▶　＆　Ｙｅｓ
```

5 [◂] [▸] キーを押して、[10pps] 、または [20pps] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
＊10pps        20pps
 ◂,▸  &  Yes
```

受信設定画面が表示されます。
[No] キーを押すと、初期画面に戻ります。

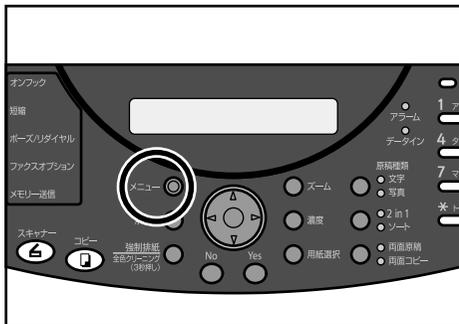
参照

・P.70 「電話回線の設定をする」

加入電話回線（外線）、自営構内回線（内線）の種別を選択する

加入電話回線で本機をご利用の場合は「ガイセン」を指定し、自営内回線で本機をご利用の場合は、「ナイセン」を指定してください。

1 操作部の [メニュー] キーを押します。

AQQ030S

2 [▴] [▾] キーを押して、[カイセン セッテイ] を選択し、[Yes] キーを押します。

```
カイセン セッテイ？            ▲
 OK=Yes ／ マタハ 1－2        ▼
```

3 [▴] [▾] キーを押して、[ガイセン / ナイセン] を選択し、[Yes] キーを押します。

4

4 [◀][▶]キーを押して、[ガイセン]、または[ナイセン]を選択し、[Yes]キーを押します。

[ナイセン]を選択する場合は、手順5に進んでください。

```
＊ガイセン　　ナイセン
 ◀,▶　 &　Yes
```

回線設定画面が表示されます。

[No]キーを押すと、初期画面に戻ります。

5 外線発信番号（ガイセンハッシン No.）をテンキーで入力します。

登録できる数字の桁数は4桁です。

```
ガイセン　ハッシン　No.　=1234
OK=Yes
```

回線設定画面が表示されます。

[No]キーを押すと、初期画面に戻ります。

補足

・工場出荷時は［ガイセン］に設定されています。

発信元の情報を登録する

「基本設定（キホンセッテイ）」で発信元の情報を登録します。

♦ 日時（ニチジ）

システム時計の年月日、時刻を設定します。

・ジカンセッテイ
・フンセッテイ
・ネンセッテイ
・ツキセッテイ
・ヒニチセッテイ
・タイムゾーン

タイムゾーンの設定は、日本の場合は「GMT=+0900」に設定してください。（GMT= グリニッジ標準時間）

タイムゾーンを設定後は、[Yes]キーを押してください。[Yes]キー押下後に設定が反映されます。

♦ ファクス番号（ファクスバンゴウ）

発信元ファクス番号を登録します。

登録できる文字は数字、記号（スペース、+、−）です。登録できる文字数は半角で最大20文字です。

♦ ユーザー名（ユーザーメイ）

登録できる文字はカタカナ（半角）、アルファベット、記号、数字です。

登録できる文字数は半角で最大32文字です。

参照

・P.97「入力のしかた」

各種の通信レポートを印刷する

「レポート自動印刷（レポートジドウインサツ）」で自動的に各種の通信レポートを印刷するかどうかを設定します。

♦ 通信管理レポート（ツウシンカンリレポート）

通信管理レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。

・スル

・シナイ

工場出荷時は「スル」に設定されています。

♦ 送信結果レポート（ソウシンケッカレポート）

送信結果レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。

・スル

・エラー時のみする（エラージノミスル）

・シナイ

工場出荷時は「エラージノミスル」に設定されています。

♦ 受信結果レポート（ジュシンケッカレポート）

受信結果レポートを自動的に印刷するかどうかを設定します。

・スル

・エラー時のみする（エラージノミスル）

・シナイ

工場出荷時は「シナイ」に設定されています。

通信管理レポート

通信管理レポートについて説明します。

ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

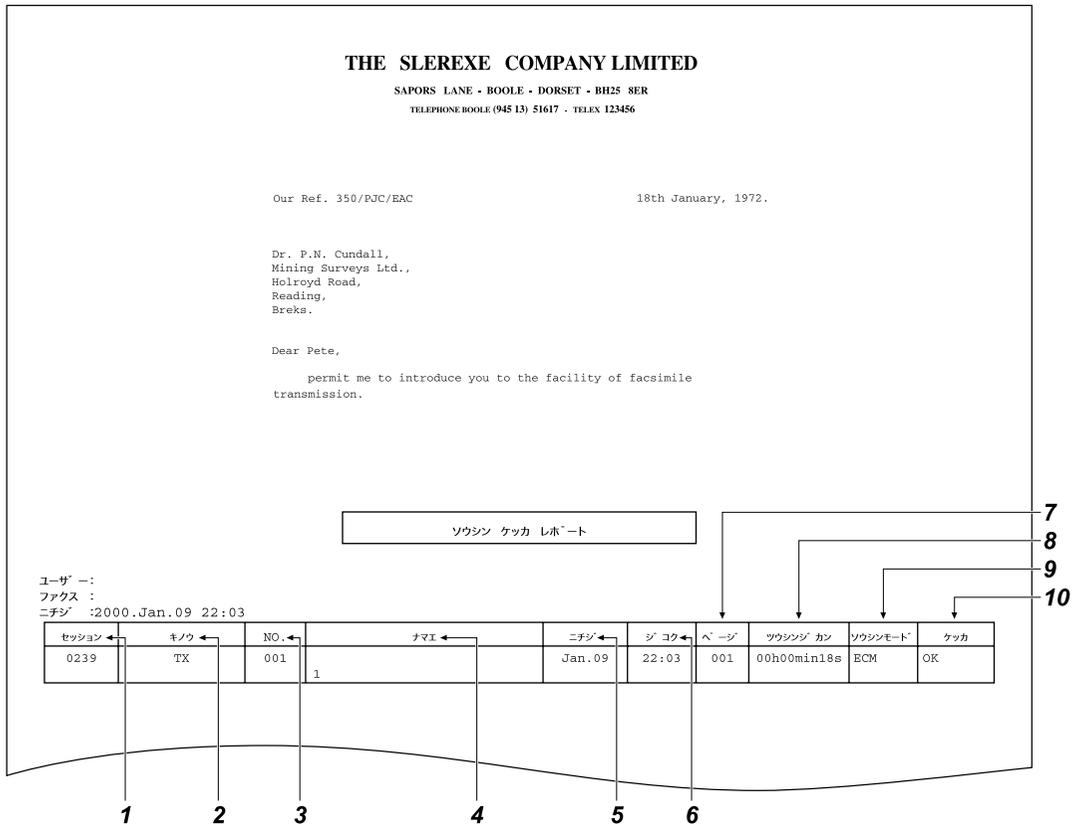
ﾕｰｻﾞｰ:
ﾌｧｸｽ :
ﾆﾁｼﾞ :2000.Jan.09 22:32

NO.	ｾｯｼｮﾝ	ﾆﾁｼﾞ	ｼﾞｺｸ	TX/RX	ﾅﾏｴ	ﾍﾟｰｼﾞ	ﾂｳｼﾝｼﾞｶﾝ	ﾂｳｼﾝﾓｰﾄﾞ	ｹｯｶ
01	0177	Jan.03	01:09	---RX		001	00h00min13s	ECM	OK
02	0178	Jan.03	01:10	---RX		001	00h00min13s	ECM	OK
03	0179	Jan.03	01:11	---RX		001	00h00min13s	ECM	OK
						001	00h00min13s	ECM	OK
26	0202	Jan.03	18:44	---RX					
27	0203	Jan.04	04:10	TX---	14	000	00h00min33s	ECM	NG 00A0
28	0204	Jan.04	04:13	TX---	14	000	00h00min37s	ECM	NG 00A0
29	0205	Jan.04	04:16	TX---	14	002	00h01min31s	ECM	OK
30	0206	Jan.04	04:29	TX---	14	000	00h00min38s	ECM	NG 00A0

BGF029D

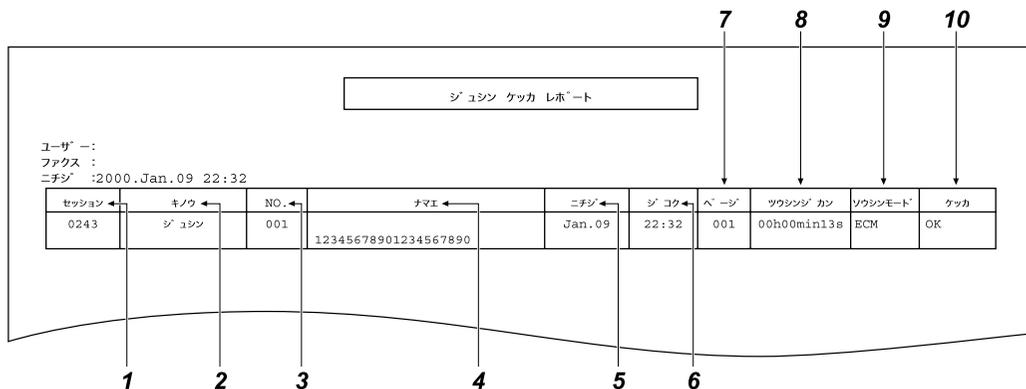
1) No.
   60 の数字が古い通信から番号付けされます。
2) セッション
   セッション番号が表示されます。
3) 日時
   通信した日付が表示されます。
4) 時刻
   通信した時刻が表示されます。
5) TX/RX（送信または受信）
   通信が送信か受信であったかにより、「TX」（送信）または「RX」（受信）として表示されます。
6) 名前
   最初の行は、本機に登録した通信先が表示されます。
   2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
7) ページ
   セッションの合計ページが表示されます。
8) 通信時間
   セッションでの通信継続時間が表示されます。
9) 送信モード
   「G3」、「ECM」、「メール」、もしくは「FTP」のいずれかのモードが表示されます。
10) 結果
   「OK」、「NG」のいずれかの通信結果が表示されます。

送信結果レポート

送信結果レポートについて説明します。

1) セッション
   セッション番号が表示されます。
2) 機能
   「TX」、「ドウホウ ソウシン」、「ポーリング ソウシン」、「ジコクシテイ ソウシン」、「チュウケイ イライ ソウシン」のいずれかの機能が表示されます。
3) No.
   番号が表示されます。
4) 名前
   最初の行は、本機に登録した送信先が表示されます。
   2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
5) 日時
   送信した日付が表示されます。
6) 時刻
   送信した時刻が表示されます。
7) ページ
   セッションの合計ページが表示されます。
8) 通信時間
   セッションでの通信継続時間が表示されます。

9) 送信モード
「G3」、「ECM」、「メール」、もしくは「FTP」のいずれかのモードが表示されます。
10) 結果
「OK」、「NG」、「チュウシ」、「メモリー フル」、「ミスフィード」、「オウトウナシ」のいずれかの通信結果が表示されます。

受信結果レポート

受信結果レポートについて説明します。

1) セッション
セッション番号が表示されます。
2) 機能
「RX」、「ポーリング ジュシン」のいずれかの機能が表示されます。
3) No.
番号が表示されます。
4) 名前
最初の行は、本機に登録した通信先が表示されます。
2 行目は、本機に登録したファクス番号が表示されます。
5) 日時
受信した日付が表示されます。
6) 時刻
受信した時刻が表示されます。
7) ページ
セッションの合計ページが表示されます。
8) 通信時間
セッションでの通信継続時間が表示されます。
9) 送信モード
「G3」、「ECM」、「メール」、もしくは「FTP」のいずれかのモードが表示されます。
10) 結果
「OK」、「NG」、「チュウシ」、「メモリー フル」、「ミスフィード」、「オウトウナシ」のいずれかの通信結果が表示されます。

5. アドレス帳を登録する

アドレス帳について（3000SF）

GX 3000SF

ファクス宛先やメール宛先などを登録して一括管理することができます。
ネットワーク上のパソコンから機器設定ユーティリティーまたは Web Image Monitor を使用して、アドレス帳の登録、変更、消去をすることができます。機器設定ユーティリティーの操作方法については、機器設定ユーティリティーのヘルプを参照してください。

重要

- ネットワーク機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。
- アドレス帳の登録データは、本機に記録されます。万一、本機に不具合が生じた場合、記録されたデータが消失することがあります。お客様のデータ消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- アドレス帳は、定期的にパソコンへバックアップを取ることをお勧めします。バックアップは機器設定ユーティリティー、もしくは Web Image Monitor を使って行います。
- ファクス宛先には「名前」を登録しておくと、宛先キーを押すだけで相手先を指定でき、ファクス宛先を選択するときに便利です。
- メール宛先は、スキャナー機能やファクス機能から送信するときに、送信者のメールアドレスとして使うことができます。
- ファクス宛先やメール宛先は送信者として使うことができます。

♦ F コード（SUB）

F コード（SUB）を付けて送信すれば、その F コード（SUB）を知っている関係者の間だけで安全に文書をやり取りすることができます。
F コード（SUB）は、送信先のファクスが F コード受信に対応している必要があります。また送信先のファクス設定に依存します。

♦ スキャナー読み取った文書を送信する

本機で読み取った文書をコンピューターにメールで送信したり、FTP サーバーに直接保存できます。
この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

- メール送信
  読み取った文書を、指定したメールアドレスに送信できます。
- FTP 送信
  読み取った文書を、ネットワーク上の FTP サーバーに直接保存できます。
  Web Image Monitor を使って短縮キーの登録先 90〜99 に FTP サーバーの接続設定を行います。

参照

- 『操作ガイド』「F コードを付けて親展送信する」
- P.42 「読み取った文書をメールで送信したい」
- P.43 「読み取った文書を FTP サーバーに送信したい」
- P.101 「機器設定ユーティリティーを使用する」
- P.106 「Web Image Monitor を使用する」
- P.97 「入力のしかた」

アドレス帳について（3000S）

GX 3000s

メール宛先を登録して一括管理することができます。
パソコンから Web Image Monitor を使用して、アドレス帳の登録、変更、消去をすることができます。

重要

- ネットワーク機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。
- アドレス帳の登録データは、本機に記録されます。万一、本機に不具合が生じた場合、記録されたデータが消失することがあります。お客様のデータ消失による損害につきましては、当社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- アドレス帳は、定期的にパソコンへバックアップを取ることをお勧めします。バックアップは Web Image Monitor を使って行います。

♦ スキャナー読み取った文書を送信する

本機で読み取った文書をコンピューターにメールで送信したり、FTP サーバーに直接保存できます。
この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

- メール送信
  読み取った文書を、指定したメールアドレスに送信できます。
- FTP 送信
  読み取った文書を、ネットワーク上の FTP サーバーに直接保存できます。
  Web Image Monitor を使って短縮キーの登録先 90〜99 に FTP サーバーの接続設定を行います。

参照

- P.42 「読み取った文書をメールで送信したい」
- P.43 「読み取った文書を FTP サーバーに送信したい」
- P.106 「Web Image Monitor を使用する」

5

ワンタッチキーについて

GX 3000SF

「ワンタッチキー」にあらかじめファクス番号やメールアドレスを登録しておけば、ファクス送信時、メール送信時に毎回番号を入力する過程が省けます。
よく使うファクス番号やメールアドレスを登録することをお勧めします。
ワンタッチキーによるファクス送信は、操作手順を最小限で行うため［白黒スタート］キーを押さないでも送信を行うことを目的としています。

重要

- ワンタッチキーを登録した後は、ワンタッチ宛先キーリストで電話番号等の確認をしてください。また本機のワンタッチキーに名前を書き込むことをお勧めします。

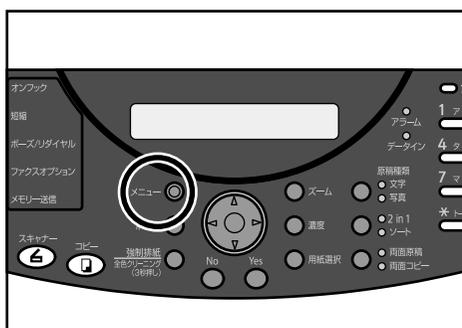
参照

- ワンタッチ宛先キーリスト印刷は、『操作ガイド』「レポートで本機の設定・状態・通信記録を確認する」を参照してください。

5

ワンタッチキーにファクス番号を登録する

ワンタッチキーにファクス番号を登録します。
1 つのワンタッチキーに登録できるのは、ファクス番号かメール宛先どちらか 1 つです。同じ相手にファクス番号とメール宛先が両方あるときは、2 つのワンタッチキーにファクス番号とメール宛先をそれぞれ 1 つずつ登録します。
ワンタッチキーは、グループに登録することができます。登録方法については、「グループキー宛先を登録する」を参照してください。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
アテサキ トウロク？          ▲
 OK=Yes ／ マタハ 1－3      ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[ワンタッチキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
1 ワンタッチキー アテサキ?    ▲
 OK=Yes                    ▼
```

4 ファクス番号を登録したい番号のワンタッチキーを押します。

```
-ワンタッチキー ヲ センタク-
```

5 名前を入力し、[Yes] キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
ナマエ=
 OK=Yes                [A]
```

6 ファクス番号を入力し、[Yes] キーを押します。

```
☎=
 SUB=▼                 [1]
```

7 [◀] または [▶] キーでモデムの速度を選択し、[Yes] キーを押します。

```
*33.6    14.4    9.6
 ◀,▶  & Yes
```

登録完了のメッセージが表示されます。

8 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

続けて登録するときは手順 **4** から **7** を繰り返します。

補足

- 手順 **3** でテンキーの [1] を押すことによっても [ワンタッチキーアテサキ] を表示させることができます。
- 手順 **6** で [✱] を押すとメール宛先を入力することができます。
- 手順 **6** で [▼] を押すと F コードなどのサブアドレスを入力することができます。
- ワンタッチキーの電話番号にトーン切り替え (✱) とポーズ (P) を登録できます。
- ポーズは複数入力可能です。
- ポーズは 1 文字目に入力できません。
- トーン切り替えキーは、✱の長押し (約 2 秒間) で登録します。
- トーンは複数入力可能です。トーンが 2 個以上存在する場合は、2 個目以降がポーズとして登録されます。[カイセン セッテイ] が [プッシュ] の場合は、トーンは全てポーズとなります。

5

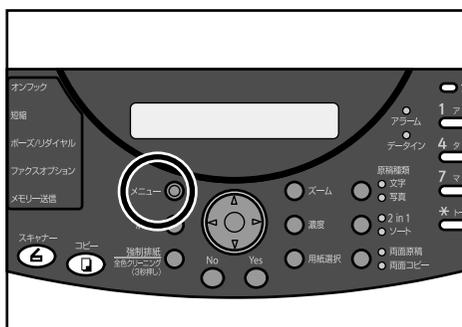
参照

- P.93「グループ宛先を登録する」
- P.84「ワンタッチキーにメール宛先を登録する」
- P.85「ワンタッチキーに F コード（SUB）を登録する」
- P.97「入力のしかた」

5

ワンタッチキーにメール宛先を登録する

ワンタッチキーにメール宛先を登録します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

アテサキ　トウロク？	▲
ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３	▼

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［ワンタッチキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

１　ワンタッチキー　アテサキ？	▲
ＯＫ＝Ｙｅｓ	▼

4 メール宛先を登録したい番号のワンタッチキーを押します。

－ワンタッチキー　ヲ　センタク－

5 名前を入力し、［Yes］キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

ナマエ＝	
ＯＫ＝Ｙｅｓ	［Ａ］

6 **［＊］キーを押して入力モードを［A］に切り替えます。**

```
☎=
                    [A]
```

メール宛先は半角 20 文字まで入力できます。

7 **メール宛先をテンキーで入力し、［Yes］キーを押します。**

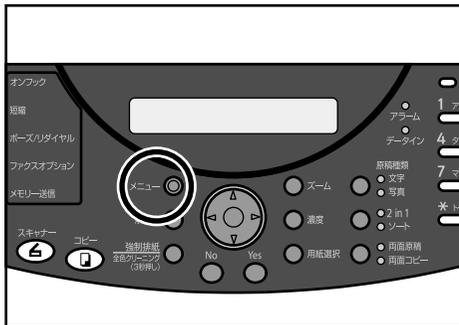
```
☎=abc@abc.com
 OK=▶               [A]
```

登録完了のメッセージが表示されます。

8 **［No］キーを 2 回押します。**

通常の画面が表示されます。

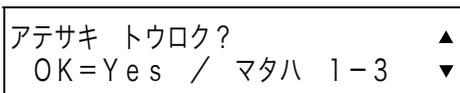
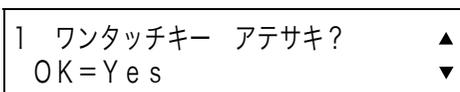
ワンタッチキーに F コード（SUB）を登録する

ワンタッチキーに F コード（SUB）を登録します。

1 **操作部の［メニュー］キーを押します。**

2 **［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
アテサキ トウロク?           ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3        ▼
```

3 **［▲］または［▼］キーを押して、［ワンタッチキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。**

```
1 ワンタッチキー アテサキ?   ▲
 OK=Yes                    ▼
```

4 Fコードを登録したい番号のワンタッチキーを押します。

```
－ワンタッチキー　ヲ　センタク－
```

5 名前を入力し、[Yes] キーを押します。

名前は半角20文字まで入力できます。

```
ナマエ＝
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　　　　［Ａ］
```

6 Fコードを登録したいファクス番号入力画面を表示し、[▼] キーを押します。

```
☎＝０１２３　４５　６７８９
　ＳＵＢ＝▼　　　　　　　　［１］
```


7 テンキーで送信用Fコード（SUB）を入力し、[▼] キーを押します。

```
サブアドレス＝１２３４
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　　　　（ＳＩＤ▼）
```

Fコードは半角20文字まで入力できます。

8 テンキーでパスワード（SID）を入力し、[Yes] キーを押します。

```
ＳＩＤ＝１２３
　ＯＫ＝Ｙｅｓ
```

パスワードは半角20文字まで入力できます。

9 [◀] または [▶] キーでモデムの速度を選択し、[Yes] キーを押します。

```
＊３３．６　　１４．４　　９．６
　◀，▶　＆　Ｙｅｓ
```

登録完了のメッセージが表示されます。

10 [No] キーを2回押します。

通常の画面が表示されます。

短縮キーについて（3000SF）

GX 3000SF

「短縮キー」にあらかじめファクス番号やメールアドレスを登録しておけば、ファクス送信時、メール送信時に毎回番号を入力する過程が省けます。
よく使うファクス番号やメールアドレスを登録することをお勧めします。

重要

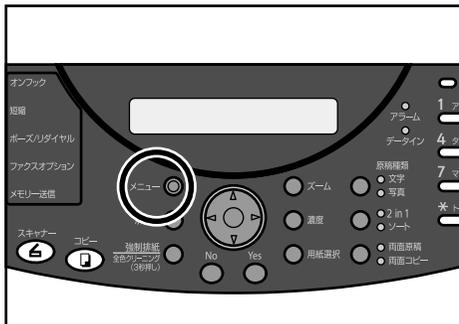
- 短縮番号は 00 から 89 までの番号にファクス番号とメール宛先を登録することができます。FTP のフォルダー宛先は Web Image Monitor を使って 90 から 99 までの番号に登録することができます。
- 1 つの短縮キーに登録できるのは、ファクス番号かメール宛先どちらか 1 つです。同じ相手にファクス番号とメール宛先が両方あるときは、2 つの短縮キーにファクス番号とメール宛先をそれぞれ 1 つずつ登録します。

参照

- 短縮キーは、グループに登録することができます。登録方法については、P.93 「グループ宛先を登録する」を参照してください。

短縮キーにファクス番号を登録する

短縮キーにファクス番号を登録します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
アテサキ トウロク?        ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3     ▼
```

3 [▲] または [▼] キーを押して、[タンシュクキーアテサキ] を表示させ、[Yes] キーを押します。

```
2 タンシュクキー アテサキ?     ▲
  OK=Yes                       ▼
```

4 ファクス番号を登録したい 00 から 89 のテンキーを押します。

短縮キー「01」にファクス番号を登録する場合は [0] と [1] を押します。

```
タンシュクキー アテサキ=
```

5 名前を入力し、[Yes] キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
ナマエ=
  OK=Yes                   [A]
```

6 ファクス番号を入力し、[Yes] キーを押します。

```
☎=0
  SUB=▼                    [1]
```

7 [◀] または [▶] キーでモデムの速度を選択し、[Yes] キーを押します。

```
*33.6       14.4       9.6
  ◀,▶  & Yes
```

登録完了のメッセージが表示されます。

8 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。
続けて登録するときは手順 4 から 7 を繰り返します。

補足

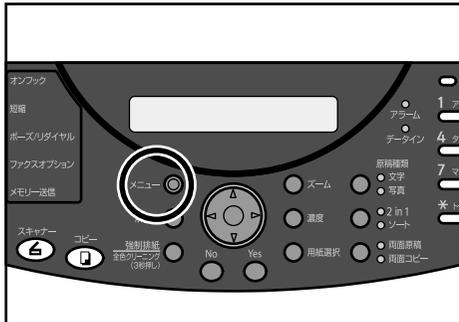
- 手順 3 でテンキーの [2] を押すことによっても [タンシュクキーアテサキ] を表示させることができます。
- 手順 6 で [✱] を押すとメール宛先を入力することができます。
- 手順 6 で [▼] を押すと F コードなどのサブアドレスを入力することができます。
- 短縮キーの電話番号にトーン切り替え (✱) とポーズ (P) を登録できます。
- ポーズは複数入力可能です。
- ポーズは 1 文字目に入力できません。
- トーン切り替えキーは、✱の長押し (約 2 秒間) で登録します。
- トーンは複数入力可能です。トーンが 2 個以上存在する場合は、2 個目以降がポーズとして登録されます。[カイセン セッテイ] が [プッシュ] の場合は、トーンは全てポーズとなります。

参照

• P.89 「短縮キーにメール宛先を登録する」
• P.90 「短縮キーに F コード（SUB）を登録する」

短縮キーにメール宛先を登録する

短縮キーにメール宛先を登録します。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

アテサキ　トウロク？ ▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　／　マタハ　１－３ ▼

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［タンシュクキーアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

２　タンシュクキー　アテサキ？ ▲
　ＯＫ＝Ｙｅｓ ▼

4 メール宛先を登録したい番号のテンキーを押します。

タンシュクキー　アテサキ＝

5 名前を入力し、［Yes］キーを押します。

ナマエ＝
　ＯＫ＝Ｙｅｓ　［Ａ］

6 ［＊］キーを押して入力モードを［A］に切り替えます。

7 メール宛先をテンキーで入力し、[Yes]キーを押します。

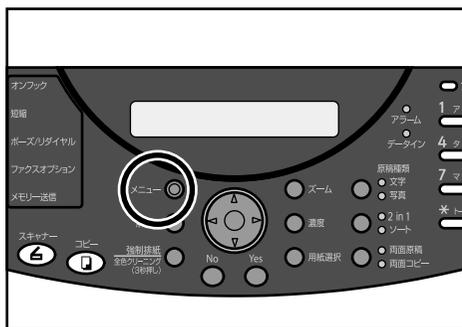
```
☎=abc@abc.com
 OK=▶                [A]
```

メール宛先は半角 20 文字まで入力できます。
登録完了のメッセージが表示されます。

8 [No]キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

短縮キーに F コード（SUB）を登録する

短縮キーに F コード（SUB）を登録します。

1 操作部の[メニュー]キーを押します。

AQQ030S

2 [▲]または[▼]キーを押して、[アテサキトウロク]を表示させ、[Yes]キーを押します。

```
アテサキ トウロク?              ▲
 OK=Yes / マタハ 1-3           ▼
```

3 [▲]または[▼]キーを押して、[タンシュクキーアテサキ]を表示させ、[Yes]キーを押します。

```
2 タンシュクキー アテサキ?      ▲
 OK=Yes                        ▼
```

4 F コードを登録したい番号のテンキーを押します。

```
タンシュクキー アテサキ=
```

5 名前を入力し、［Yes］キーを押します。

```
ナマエ=
  OK=Yes              [A]
```

6 F コードを登録したいファクス番号の入力画面を表示し、[▼] キーを押します。

```
☎=0123 45 6789
  SUB=▼               [1]
```

7 テンキーで送信用 F コード（SUB）を入力し、［▼］キーを押します。

```
サブアドレス=123
  OK=Yes          (SID▼)
```

F コードは半角 20 文字まで入力できます。

8 テンキーでパスワード（SID）を入力し、［Yes］キーを押します。

```
SID=123
  OK=Yes
```

パスワードは半角 20 文字まで入力できます。

9 ［◂］または［▸］キーでモデムの速度を選択し、［Yes］キーを押します。

```
*33.6    14.4    9.6
  ◂,▸  & Yes
```

登録完了のメッセージが表示されます。

10 ［No］キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

参照

- 『操作ガイド』「F コードを付けて親展送信する」

5

短縮キーについて（3000S）

GX 3000S

「短縮キー」にあらかじめメールアドレスを登録しておけば、メール送信時に毎回アドレスを入力する過程が省けます。

よく使うメールアドレスを登録することをお勧めします。

短縮キーは Web Image Monitor を使って登録します。

重要

- 短縮番号は 00 から 89 までの番号にメール宛先を登録することができます。
- FTP のフォルダー宛先は 90 から 99 までの番号に登録することができます。

参照

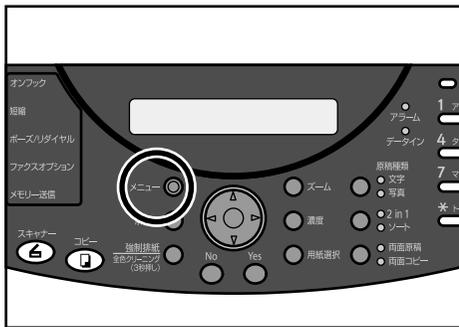
- P.106 「Web Image Monitor を使用する」

グループ宛先を登録する

GX 3000SF

宛先をグループに登録することができます。
グループ宛先の登録はワンタッチキーに登録します。
グループの登録はワンタッチ宛先と合わせて 30 件までできます。
1 つのグループに登録できる宛先は最大 50 件です。

1 操作部の［メニュー］キーを押します。

AQQ030S

メニュー画面が表示されます。

2 ［▲］または［▼］キーを押して、［アテサキトウロク］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
アテサキ　トウロク?　　　　　　▲
　OK=Yes　/　マタハ　1-3　　▼
```

3 ［▲］または［▼］キーを押して、［グループアテサキ］を表示させ、［Yes］キーを押します。

```
3　グループ　アテサキ?　　　　▲
　OK=Yes　　　　　　　　　　　▼
```

4 宛先を登録したい番号のワンタッチキーを押します。

```
-ワンタッチキー　ヲ　センタク-
```

5 グループ名を入力し、［Yes］キーを押します。

名前は半角 20 文字まで入力できます。

```
グループメイ=
　OK=▶　　　　　　　　　　[A]
```

5

6 グループに登録したいワンタッチキーを押すか、登録したい短縮キーの番号を入力し、[Yes] キーを押します。

```
No. 001=
```

グループの登録を続けるときは、[Yes] キーを押します。終了するときは、[白黒スタート] キーを押します。
登録完了のメッセージが表示されます。

7 [No] キーを 2 回押します。

通常の画面が表示されます。

補足

- 手順 3 でテンキーの [3] を押すことによっても [グループアテサキ] を表示させることができます。
- グループ宛先に登録したワンタッチキーや短縮キーの登録内容を変更 / 削除する場合は、グループ宛先に登録されている内容を変更 / 削除するかしないかの選択をすることができます。

5

参照

- P.82 「ワンタッチキーについて」

入力できる文字

以下の文字を入力できます。

- カタカナ
- アルファベット
- 記号
- 数字
  0123456789

使用するキー

- ◆ **テンキー**
  文字、数字を入力します。
- ◆ **[＊] キー**
  入力したい文字の種類に応じ、モードを切り替えます。
- ◆ **[No] キー**
  カーソル上の 1 文字を削除します。右端の文字を削除するときは、カーソルが右端の文字の右側にあっても削除できます。
- ◆ **[クリア / ストップ] キー**
  入力中の文字を全て削除します。
- ◆ **[◀] / [▶] キー**
  カーソルを左右に移動します。

入力のしかた

◆ **入力モード**

入力したい文字の種類に応じ、[＊] キーを押してモードを切り替えます。

- [ア] モード
  カタカナが入力できます。
- [A] モード
  アルファベットと記号が入力できます。
- [1] モード
  数字が入力できます。

カタカナの入力

[ア] モードのとき、テンキーを押すと、カタカナが入力できます。同じテンキーを押すと、次の文字が表示されます。

5

テンキー	押すごとに表示される順番
1	ア→イ→ウ→エ→オ→ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ
2	カ→キ→ク→ケ→コ
3	サ→シ→ス→セ→ソ
4	タ→チ→ツ→テ→ト→ッ
5	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ
6	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ
7	マ→ミ→ム→メ→モ
8	ヤ→ユ→ヨ→ャ→ュ→ョ
9	ラ→リ→ル→レ→ロ
0	ワ→ヲ→ン→スペース
＊	
＃	＃→゛→゜

1 **GX3000SF：[＊] キーを押して表示を [ア] モードにします。**

```
ナマエ=_
 OK=▶              [ア]
```

GX3000S：[＊] キーを押して表示を [ア] モードにします。

```
ケンサク->>ヨ_
 OK=▶              [ア]
```

2 **テンキーを押して入力したい文字を表示させます。**

文字が入力され、カーソルが移動します。

補足

- 「ト」を入力したいときはテンキーの「4」を押し、続けて同じテンキーを 4 回押します。
- 同じ文字を続けて入力するときや同じテンキーに割り当てられている別の文字を入力するときは、[▶] キーでカーソルを移動してから入力します。

アルファベットの入力

[A] モードのときテンキーを押すとアルファベットが入力できます。同じテンキーを押すと、次の文字が表示されます。

<table>
<tr><th>テンキー</th><th>押すごとに表示される順番</th></tr>
<tr><td>1</td><td>.→@→_→-→1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>A→B→C→2→a→b→c</td></tr>
<tr><td>3</td><td>D→E→F→3→d→e→f</td></tr>
<tr><td>4</td><td>G→H→I→4→g→h→i</td></tr>
<tr><td>5</td><td>J→K→L→5→j→k→l</td></tr>
<tr><td>6</td><td>M→N→O→6→m→n→o</td></tr>
<tr><td>7</td><td>P→Q→R→S→7→p→q→r→s</td></tr>
<tr><td>8</td><td>T→U→V→8→t→u→v</td></tr>
<tr><td>9</td><td>W→X→Y→Z→9→w→x→y→z</td></tr>
<tr><td>0</td><td>スペース→0</td></tr>
<tr><td>⚹</td><td></td></tr>
<tr><td>#</td><td>#→+→&→/→⚹→=→!→?→(→)→%→[→]→^→`→'→{→}→|→~ *1 →$</td></tr>
</table>

*1 画面上では “~”（チルダ）が “→” と表示されます。

1 [⚹] キーを押して表示を [A] モードにします。

2 テンキーを押して入力したい文字を表示させます。

文字が入力され、カーソルが移動します。

補足

- 「B」を入力したいときはテンキーの「2」を 2 回押します。
- 同じ文字を続けて入力するときや同じテンキーに割り当てられている別の文字を入力するときは、[▶] キーでカーソルを移動してから入力します。

数字の入力（3000SF）

GX 3000SF

[1] モードのときテンキーを押すと数字が入力できます。同じテンキーを押すと次の数字が表示されます。

テンキー	押すごとに表示される順番
1 *1	-→1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0 *1	スペース→0
＊ *1	＊ *2
＃ *1	＃(+)→＊

*1 入力している項目によって変わります。
*2 ファクス番号指定時のみ。ただし、オプションのネットワークボードが装着されている場合は［＊］の代わりに［＃］キーを押して「＊」を入力します。

1 テンキーを押します。

数字が入力され、カーソルが移動します。

補足

• 同じ数字を続けて入力するときは、［▶］キーでカーソルを移動してから入力します。

5

数字の入力（3000S）

GX 3000s

[1] モードのときテンキーを押すと数字が入力できます。同じテンキーを押すと次の数字が表示されます。

テンキー	押すごとに表示される順番
1 *1	-→1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9
0 *1	スペース→0
＊ *1	
＃ *1	＃(+)→＊

*1 入力している項目によって変わります。

1 **テンキーを押します。**

数字が入力され、カーソルが移動します。

補足

- 同じ数字を続けて入力するときは、[▶] キーでカーソルを移動してから入力します。

文字を削除する

1 **[◀] キーまたは [▶] キーを押して削除したい文字にカーソルを移動します。**

2 **[No] キーを押します。**

カーソル上の文字が削除されます。

5

6. ユーティリティーを使用する

機器設定ユーティリティーを使用する

GX 3000SF

機器設定ユーティリティーを使って、ワンタッチキー、[短縮] キー、グループあて先の登録／変更や、本機に関する設定の変更を PC 側から行うことができます。

重要

- 本機とクライアントコンピューターを USB 接続をしている必要があります。
- 機器設定ユーティリティーを使用するには、TWAIN ドライバーをインストールしている必要があります。
- Windows NT 4.0 には、機器設定ユーティリティーをインストールすることができません。
- あらかじめ付属の CD-ROM 「ドライバー & ユーティリティー」の「おすすめインストール（USB 接続用）」で、機器設定ユーティリティーをインストールしておいてください。

♦ **どんなことができるのか？**

- ワンタッチキーの登録 / 変更 / 印刷
- 短縮キーの登録 / 変更 / 印刷
- グループあて先の登録／変更 / 印刷
- トータルカウンターの表示
- 本機に取り付けてあるオプションの表示
- 以下の本機に関する設定確認／変更
  - システムショキセッテイ（システム初期設定）
  - ヨウシセッテイ（用紙設定）
  - ユーザーセイゲン（ユーザー制限）
  - コピーショキセッテイ（コピー初期設定）
  - ソウシンセッテイ（送信設定）
  - ジュシンセッテイ（受信設定）
  - カイセンセッテイ（回線設定）
  - リスト / レポートインサツ（リスト / レポート印刷）
  - ネットワークセッテイ（ネットワーク設定）
  - LDAP セッテイ（LDAP 設定）
  - POP3 セッテイ（POP3 設定）
  - SMTP セッテイ（SMTP 設定）
  - スキャナーショキセッテイ（スキャナー初期設定）

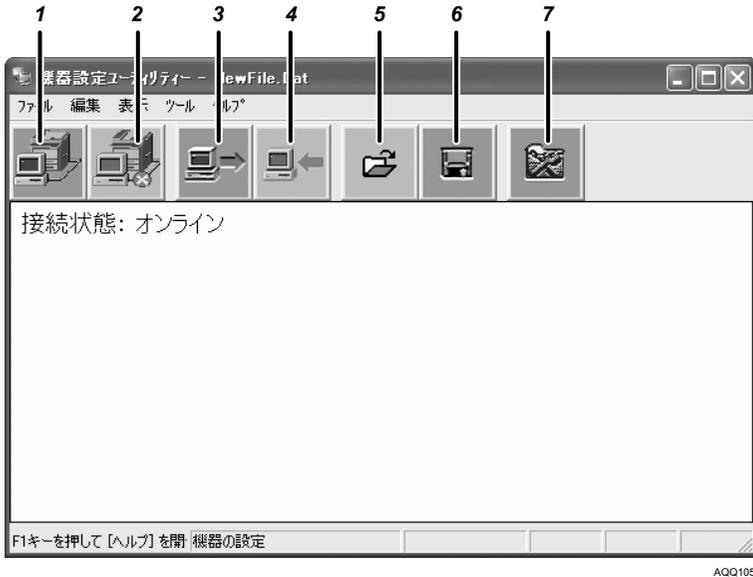
補足

- オプションのネットワークボードを取り付けているときのみ、[ネットワークセッテイ]、[LDAP セッテイ]、[POP3 セッテイ]、[SMTP セッテイ]、[スキャナーショキセッテイ] の設定が行えます。

操作の流れ

機器設定ユーティリティーの基本操作について説明します。

♦ アイコンの説明

AQQ105S

1) 本機に接続します。
2) 本機との接続を終了します。
3) 本機の設定情報をダウンロードします。
4) 本機の設定情報をアップロードします。
5) 機器設定ユーティリティーのファイルを開きます。
6) 機器設定ユーティリティーのファイルを保存します。
7) メニュー設定を行います。

1 機器設定ユーティリティーを起動します。

2 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

3 「ツール」メニューから「ダウンロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

4 設定を確認／修正します。

5 「ツール」メニューから「アップロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機にデータをアップロードします。

6 「ツール」メニューから「切断」をクリックします。

または画面のをクリックします。

7 「ファイル」メニューから「終了」をクリックします。

機器設定ユーティリティーが終了します。

補足

- 接続状態が「オフライン」と表示されている場合は、機器設定ユーティリティーからの操作が行えません。本機と接続してから操作を行ってください。

ワンタッチキー、短縮キー、グループあて先の登録 / 編集をする

ワンタッチキー、短縮キー、グループあて先の編集方法について説明します。

1 「ツール」メニューから「機器に接続」をクリックします。

または画面のをクリックします。

2 「ツール」メニューから「ダウンロード」をクリックします。

または画面のをクリックします。本機から機器設定ユーティリティーのデータをダウンロードします。

6

3 「表示」メニューから編集したいリストをクリックします。

4 登録したい番号のセルを反転させてダブルクリックします。

5 必要な情報を入力します。

◆ ワンタッチキー

登録 / 変更できるワンタッチ宛先は 30 件までです。

ファクス番号設定

項目名	説明
名前：	ワンタッチ宛先の名前を指定します。最大20文字まで入力できます。
ファクス番号：	相手先のファクス番号を指定します。
SUB：	サブアドレスナンバーを指定します。
SID：	SID パスワードを指定します。
通信速度	相手先との通信スピードを指定します。

E-mail 設定 [*1]

項目名	説明
名前：	ワンタッチ宛先の名前を指定します。最大20文字まで入力できます。
メールアドレス	相手先の e-mail アドレスを指定します。

[*1] この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

♦ 短縮キー

番号 00 から 89 までの合計 90 の短縮キーの表示 / 登録ができます。

ファクス番号設定

項目名	説明
名前	短縮キーの名前を指定します。最大 20 文字まで入力できます。
ファクス番号：	相手先のファクス番号を指定します。
SUB：	サブアドレスナンバーを指定します。
SID：	SID パスワードを指定します。
通信速度	相手先との通信スピードを指定します。

E-mail 設定 [*1]

項目名	説明
名前：	短縮キーの名前を指定します。最大 20 文字まで入力できます。
メールアドレス	相手先の e-mail アドレスを指定します。

*1　この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

♦ グループあて先

ファクス番号と e-mail アドレスを区別することなく、混合させて一つのグループあて先に登録できます。

項目名	説明
グループ名：	グループあて先の名前を指定します。最大 20 文字まで入力できます。名前を入力しないと登録できません。必ず入力してください。

Web Image Monitor を使用する

Web Image Monitor を使って、本機の状態を確認したり、本機のネットワークに関する設定を変更することができます。

重要

- この機能を使うためには、オプションのネットワークボードが必要です。

◆ どんなことができるのか？

Web Image Monitor は、離れた場所にある機器の状態確認や設定変更を、ネットワークを介したパソコンの Web ブラウザー上からできる機能です。

Web Image Monitor では以下の操作ができます。

- 機器の状態／設定の確認
- 本機のリセット
- GX 3000SF：ワンタッチキー、短縮キー、グループあて先の登録・変更
- GX 3000S：短縮キーの登録・変更
- 本機の各種設定
- メール通知機能の設定
- ネットワークプロトコルに関する設定

6

◆ 本機の環境設定

この機能は TCP/IP プロトコルを使って動作します。Web Image Monitor を使用する場合は、本機で TCP/IP プロトコルの設定を行ってください。TCP/IP の設定が正しく行われると、この機能は自動的に有効になります。

◆ 推奨 Web ブラウザー

Internet Explorer 6.0 以降

Netscape Navigator 4.0 以降

補足

- 使用する Web ブラウザーのバージョンが推奨 Web ブラウザーより低い場合や、使用する Web ブラウザーの設定で、「JavaScript」、「Cookie の使用許可」が有効になっていない場合は、表示や操作に不具合が生じる場合があります。
- プロキシサーバーをご使用の場合、本機との接続にプロキシサーバーを経由しない設定にしてください。詳しくはネットワーク管理者の方に確認してください。
- Web ブラウザーの［戻る］で前のページに戻れないことがあります。そのときは Web ブラウザーの［更新］または［再読み込み］をクリックしてください。
- Web ブラウザーで取得できる情報は、自動的に更新されません。情報を更新する場合は、Web ブラウザーの［更新］、［再読み込み］をクリックしてください。

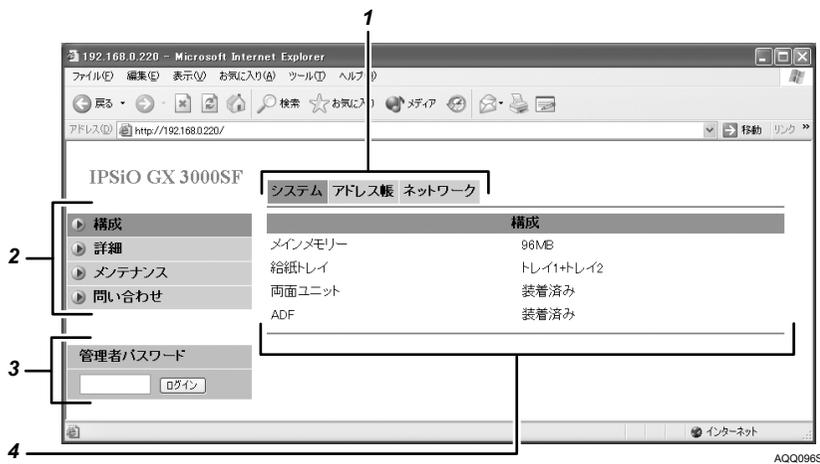
トップページを表示する

Web Image Monitor の表示とメニュー構成の説明です。

1 Web ブラウザーを起動します。

2 Web ブラウザーのアドレスバーに「http://（本機のアドレス）/」と入力し、本機にアクセスします。

DNS サーバーを使用し、本機のホスト名が設定されている場合、ホスト名を入力することができます。

Web Image Monitor は、フレーム機能によって次のエリアに分割表示されます。

1 カテゴリタブ

カテゴリを選択すると、対応するメニューがメニューエリアに表示されます。

2 メニューエリア

メニュー項目を選択すると、その内容がワークエリアに表示、またはサブメニューが表示されます。

3 パスワード入力エリア

管理者モードでログインするときに、管理者パスワードを入力します。

4 ワークエリア

メニューエリアで選択された項目の内容が表示されます。

ワークエリア内の情報は自動的に更新されません。情報を更新したい場合は Web ブラウザーの更新、再読み込みをクリックしてください。

参照

・P.108 「メニュー構成とモード」

6

メニュー構成とモード

Web Image Monitor には、ユーザーモードと管理者としてログインする管理者モードがあり、表示されるメニューが異なります。
また、お使いの機種により表示される項目が異なります。

♦ **ユーザーモード**

ユーザーモードでは、機器の状態や設定、ジョブの状態などを表示できます。ただし、機器に関する設定を変更することはできません。

♦ **管理者モード**

管理者としてログインする管理者モードでは、機器に関する各種の設定ができます。

Web Image Monitor で設定できる項目

重要

- ［LDAP サーバー］の［属性］の項目は変更できません。

システム

メニュー	説明	設定できるモード
構成	取り付けているオプションや本機の構成と状況が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード
詳細	インク残量、ファームウェアのバージョン、トレイの状態、インターフェース情報が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード
パスワード / 言語	ログインするときのパスワードを変更したり、Web Image Monitor内で表示される言語の設定ができます。	管理者モードのみ
バックアップ / リストア	本機の設定情報を取り込んで保存したり、保存した情報を機器に送り、変更された設定を元に戻すことができます。	管理者モードのみ
メンテナンス	本機を工場出荷値の状態に戻したり、カウンターの確認ができます。	ユーザーモード 管理者モード サブメニューの「設定値初期化」と「イーサネットボードリセット」は管理者モードのときだけ表示されます。
問い合わせ	本機のヘルプやサービスの連絡先が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード

GX 3000SF：アドレス帳

メニュー	説明	設定できるモード
ワンタッチキーあて先表	ワンタッチキーに登録した情報を確認できます。	ユーザーモード 管理者モード 管理者モードの場合、新たにワンタッチ宛先を登録することができます。
短縮キーあて先表	短縮キーに登録した情報を確認できます。 短縮キーの登録先 90～99 では、FTPサーバーの接続設定と登録をします。	ユーザーモード 管理者モード 管理者モードの場合、新たに短縮キーを登録、または編集することができます。
グループあて先表	グループあて先に登録した情報を確認できます。	ユーザーモード 管理者モード 管理者モードの場合、新たにグループあて先を登録、または編集することができます。
アドレス帳バックアップ/リストア	ワンタッチキーあて先表、短縮キーあて先表、グループあて先表をcsv形式のファイルにして本機からダウンロード、また本機にアップロードします。	管理者モードのみ

GX 3000S：アドレス帳

メニュー	説明	設定できるモード
短縮キーあて先表	短縮キーに登録した情報を確認できます。 短縮キーの登録先 90～99 では、FTPサーバーの接続設定と登録をします。	ユーザーモード 管理者モード 管理者モードの場合、新たに短縮キーを登録、または編集することができます。
アドレス帳バックアップ/リストア	短縮キーあて先表を csv 形式のファイルにして本機からダウンロード、また本機にアップロードします。	管理者モードのみ

ファクス

メニュー	説明	設定できるモード
ファクス設定	ファクス機能に関する設定ができます。	ユーザーモード 管理者モード

ネットワーク

メニュー	説明	設定できるモード
構成	インターフェース情報が確認できます。	ユーザーモード 管理者モード
TCP/IP	TCP/IP の設定ができます。	管理者モードのみ
SMTP/POP3	SMTP と POP3 の設定ができます。	管理者モードのみ
FTP/DNS	FTP と DNS の設定ができます。	管理者モードのみ
SMTP グループ	SMTP グループを登録・削除できます。	管理者モードのみ
SNMP	SNMP の設定ができます。	管理者モードのみ
LDAP サーバー	LDAP の設定や検索ができます。	管理者モードのみ
フィルター	フィルター設定ができます。	管理者モードのみ

管理者モードでアクセスするには

Web Image Monitor に管理者モードでアクセスする方法です。

1. Web Image Monitor のトップページを表示します。
2. パスワードを入力して、［ログイン］をクリックします。
   パスワード「ricoh」は工場出荷時の設定です。

補足

- パスワードは変更してください。
- 同時に複数のユーザーがログインすることはできません。他のユーザーがすでにログインしているとメッセージが表示されます。
- ログイン中は、本機の操作部からの操作ができません。
- GX 3000SF : 本機が原稿読み取り中、印刷中、またはファクス送信 / 受信中の場合は、操作部にメッセージが表示され、ログインできません。
- GX 3000S : 本機が読み取り中、または印刷中の場合は、操作部にメッセージが表示され、ログインできません。

機器の設定を変更する

機器の設定を変更します。機器の設定を変更するためには、ログインして管理者モードに切り替える必要があります。

1. Web ブラウザーを起動します。
2. アドレスに「http://（本機のアドレス）/」と入力します。
3. パスワードを入力して、[ログイン］をクリックします。
   工場出荷時のパスワードは「ricoh」に設定されています。
4. カテゴリタブから目的のタブをクリックします。
5. メニューから目的の項目をクリックします。
   選択した項目の情報がワークエリアに表示されます。
6. 各種設定を行います。
7. [適用］をクリックします。
   設定が反映されます。

補足

・設定を取り消すときは、[クリア］をクリックしてください。

索引

アルファベット索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

わ行

商標

- Flash、Macromedia は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Netscapeは、Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows NT®、Windows Server®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- その他の製品名、名称は各社の商標または登録商標です。

* Windows 98 の製品名は、Microsoft® Windows® 98 です。
* Windows Me の製品名は、Microsoft® Windows® Millennium Edition（Windows Me）です。
* Windows 2000 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® 2000 Professional
  Microsoft® Windows® 2000 Server
  Microsoft® Windows® 2000 Advanced Server
* Windows XP の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows® XP Home Edition
  Microsoft® Windows® XP Professional
* Windows Vista の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Vista® Ultimate
  Microsoft® Windows Vista® Enterprise
  Microsoft® Windows Vista® Business
  Microsoft® Windows Vista® Home Premium
  Microsoft® Windows Vista® Home Basic
* Windows Server 2003 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition
  Microsoft® Windows Server® 2003 Web Edition
* Windows NT 4.0 の製品名は以下のとおりです。
  Microsoft® Windows NT® Workstation 4.0
  Microsoft® Windows NT® Server 4.0

重要

- 本機に登録した内容は、必ず控えをとってください。お客様が操作をミスしたり本機に異常が発生した場合、登録した内容が消失することがあります。
- 本機の故障による損害、登録した内容の消失による損害、その他本機の使用により生じた損害について、当社は一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

機械の改良変更等により、本書のイラストや記載事項とお客様の機械とが一部異なる場合がありますのでご了承ください。

おことわり

1. 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
2. 本製品（ハードウェア、ソフトウェア）および使用説明書（本書・付属説明書）を運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
3. 本書の一部または全部を無断で複写、複製、改変、引用、転載することはできません。

株式会社 リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

IPSiO GX 3000SF/GX 3000S　セットアップハンドブック

お問い合わせ先

消耗品に関するお問い合わせ

弊社製品に関する消耗品は、お買い上げの販売店にご注文ください。
NetRICOH のホームページからもご購入できます。
http://www.netricoh.com/

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲（サービスの内容）、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

0120 FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間：平日（月～金）9時～18時／土曜日9時～12時、13時～17時　（祝祭日、弊社休業日を除く）
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。

※対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音させていただいております。
http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

最新ドライバーおよびユーティリティー情報

最新版のドライバーおよびユーティリティーをインターネットのリコーホームページから入手できます。

- インターネット / リコーホームページ：http://www.ricoh.co.jp/download/index.html

リコーは環境保全を経営の優先課題のひとつと考え、リサイクル推進にも注力しております。
本製品には、新品と同一の当社品質基準に適合した、リサイクル部品を使用している場合があります。

JA　2008年1月　J012-6613A